

「健康ながはま21」第3期：平成29年度事業実施結果



健康寿命の延伸

●目標:平均寿命と健康寿命の差を縮める (※〈 〉内はH22県の数値)

具体的目標	評価指標	直近の状況 (出典)	目標値	対策
健康寿命の延伸	日常生活動作が自立している期間の平均の延伸	<p>男性:79.52年(平均寿命との差0.99年 H22)〈79.08〉</p> <p>女性:84.78年(平均寿命との差1.93年 H22)〈83.50〉</p> <p>(H24厚生労働省科学研究費補助金「健康寿命における将来予測と生活習慣病対策の費用対効果に関する研究」健康寿命の算定プログラムによる算定数値)</p> <p>健康な状態を日常生活動作が自立していることと規定し、介護保険の要介護度の要介護2～5を不健康(要介護)な状態とし算定。</p>	平均寿命と健康寿命の差を縮める	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の生活の質を向上させる「健康なひとづくり」の身体活動・運動をはじめとする9つの分野を推進する ・社会環境の質を向上させる「健康なまちづくり」のソーシャルキャピタルの醸成をはじめとする3つの分野を推進する ・食育分野を推進する

身体活動・運動

●目標: 身体を動かす習慣を持つことで、生活習慣病の発症予防・介護予防ができる(※く)内はH22県の数値)

具体的目標	評価指標	直近の状況 (出典)	目標値	対策		H28実施結果	H29実施事業計画	H29実施結果	H30実施事業計画
				個人で心がけること	行政や関係機関の取り組み				
身体を動かすことを習慣にしている人の増加	継続して運動する人の増加	20～64歳 男性:15.2%<16.0%> 女性:19.9%<14.2%>	20～64歳 男性:20% 女性:25%	<ul style="list-style-type: none"> ・学校、地域、職場で開催される行事やスポーツレクリエーション等に積極的に参加する ・運動を楽しむために仲間をつくる ・日常生活で意識的に身体を動かす(階段や自転車の使用等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の必要性や体に良い運動方法についての情報を提供する ・仲間作りができる取り組みや運動の自主グループ活動を支援する ・ウォーキング教室等のイベントや運動のできる場についての情報を提供する 	<p>【文化スポーツ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・器械体操教室やヨガ教室などの各種運動教室やスポーツイベント及び総合型地域スポーツクラブの事業について、自治会配布チラシや「広報ながはま」の文スポチャンネルのコーナーを通し、情報提供及び啓発をした。 ・陸上教室や運動遊び・体験など地域住民を中心とした定期的なスポーツ教室、ビーチールやソフボール等の大会の開催を行う総合型地域スポーツクラブの設立・支援。 ・幼少期スポーツ教室を7クラブに委託し開催した。全89回開催、延べ1350人参加。(6クラブ、2準備委員会) ・(6クラブ)余呉、西浅井、木之本、高月、湖北、旧長浜(2準備委員会)びわ、虎姫 ・総合型地域スポーツクラブ連絡協議会事業の開催本年度4回開催し、「スポーツ鬼ごっこ大会」の実施をはじめ、情報交換、連携の強化、「しょうがい者スポーツ」の啓発を行なった。 <p>【健推】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ながはま健康ウォークを開催(9月27日～11月17日)し、延1,015人(実745人)が参加。参加者のうち11名に保健指導を実施し、運動の継続、定着を支援した。 ・特定保健指導初回実施者297人、(実施率54.52%、H29.5.24時点)、健康栄養相談を実169人、延273人に実施、個人の生活に沿った運動を実践できるように指導した。 ・メタボ撃退教室を4回実施し、実62人に対して、健康運動指導士による自宅で継続できる運動の紹介・実践を行った。3か月後アンケートにより教室後の運動状況の変化を確認した。 ・健康推進員養成講座で2回実12人(延19人)、ステップアップ研修で2回延95人に運動指導と実践を行った。 ・広報ながはま、滋賀夕刊で運動に関する情報提供を実施した。 ・随時希望する団体に、ホームビクスDVDの提供を行い、運動の自主グループが継続して活動できるよう支援した。 	<p>【スポーツ振興】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①長浜文化スポーツ振興事業団への委託による各種運動教室等を実施する(びわ湖長浜ツーデーマーチ、浅井お市マラソン等)。 ②スポーツイベント及び総合型地域スポーツクラブの事業について、自治会配布チラシや「広報ながはま」に、スポーツNAVIや文スポチャンネルとして毎月掲載し、情報提供及び啓発を実施する。 ③地域住民を中心とした定期的なスポーツ教室、大会の開催を行う総合型地域スポーツクラブへの支援を行う。(6クラブ、2準備委員会) ④総合型地域スポーツクラブ連絡協議会事業を開催する(情報交換、連携の強化、啓発事業の開催)。 <p>【健推】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①特定保健指導、健康栄養相談時に個人の生活に沿った運動を実践できるように従事者研修を行い、指導力を向上し啓発する。 ②特定健診・生活習慣病健診受診者に対して、結果説明会(実践編)を開催し、健康運動指導士が自宅で継続できる運動について指導する。 ③ながはま健康ウォークを開催し、家族、友人等みんなが誘い合い、励まし合いながら歩くことをきっかけとして、その後も運動が継続できるように支援する。 ④健康推進員養成講座、ステップアップ研修の中で、健康づくりのための運動を指導する。 ⑤滋賀夕刊等で運動の必要性を啓発する。 ⑥出前講座で健康づくりのための運動と転倒予防についての指導を行う。 ⑦公民館等で行われている運動サークル等の資源の一覧を作成し、特定保健指導や出前講座などで随時紹介する。 	<p>【スポーツ振興】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①びわ湖長浜ツーデーマーチ 3,254人参加 ・長浜市浅井お市マラソン 6,121人参加 ②器械体操教室やヨガ教室などの各種運動教室やスポーツイベント及び総合型地域スポーツクラブの事業について、自治会配布チラシや「広報ながはま」の文スポチャンネルのコーナーを通し、情報提供及び啓発をした。 ③幼少期スポーツ教室を7クラブに委託し開催した。H29年度実績 75件・1,545人参加、目標値の1,350人は達成した。 ④総合型地域スポーツクラブ連絡協議会による「スポーツ鬼ごっこ大会」を平成30年3月18日に開催 <p>【健推】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①特定保健指導、健康栄養相談時に個人の生活に沿った運動を実践できるように従事者研修を実施。H29年8月に実施し20名参加。 ②特定健診・生活習慣病健診受診者に対して、結果説明会(実践編)を開催し、健康運動指導士が自宅で継続できる運動について指導。全4回、71名参加予定。 ③ながはま健康ウォークを開催(第1日程:9月26日～10月5日、第2日程:10月31日～11月9日)し、延822人(実595人)が参加。参加者のうち5名に保健指導を実施し、運動の継続、定着を支援した。 ④健康推進員養成講座で2回実施。第1回:11人、第2回12人参加、ステップアップ研修で運動プラス10の講習、ウォーキング講習、きゃんせ体操を実施 第1回講習 :実47人 第2回運動実践:実44人 ⑤滋賀夕刊7月号で運動の必要性を啓発した。 ⑥出前講座で健康づくりのための運動と転倒予防についての指導を行った。 ・転倒予防 :3回(81人受講) ・公民館等で行われている運動サークル等の資源の一覧を作成し、特定保健指導や出前講座などで随時紹介実施。 	<p>【スポーツ振興】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①長浜文化スポーツ振興事業団への委託による各種運動教室等を実施する(びわ湖長浜ツーデーマーチ、浅井お市マラソン等)。 ②スポーツイベント及び総合型地域スポーツクラブの事業について、自治会配布チラシや「広報ながはま」に、スポーツNAVIや文スポチャンネルとして毎月掲載し、情報提供及び啓発を実施する。 ③地域住民を中心とした定期的なスポーツ教室、大会の開催を行う総合型地域スポーツクラブへの支援を行う。(8クラブ)余呉、西浅井、木之本、高月、湖北、長浜、びわ、虎姫 ④総合型地域スポーツクラブ連絡協議会事業を開催する(情報交換、連携の強化、啓発事業の開催)。 <p>【健推】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①特定保健指導、健康栄養相談時に個人の生活に沿った運動を実践できるように従事者研修を実施。 ②特定健診・生活習慣病健診受診者に対して、結果説明会(実践編)を開催し、健康運動指導士が自宅で継続できる運動について指導。 ③ながはま健康ウォークを開催 ④健康推進員養成講座を実施。 ⑤報道媒体による啓発。 ⑥出前講座で健康づくりのための運動と転倒予防についての指導を行う。
		徒歩10分で行ける所へ出かけるとき、主に徒歩または自転車で行く人の増加	20～64歳 男性:48.8%<29.7%> 女性:55.7%<29.0%>			20～64歳 60% 65歳以上 75%	<ul style="list-style-type: none"> ・特定保健指導(実297名)、健康栄養相談(延273名)のうち、生活改善の取り組みとして、必要な人に運動の目標設定を相談し、継続を支援した。 ・メタボ撃退教室4回の中で、アクティブガイドに基づいた運動指導を行った。 ・健康出前講座で日常生活において、健康維持のために今よりも+10分身体を動かす事を伝え、自宅で実践できる体操を紹介した(8回、延137人)。 	<p>【健推】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①特定保健指導、健康栄養相談時にアクティブガイド(厚労省健康づくりのための身体活動指針)に基づき、個人の生活に沿った身体活動が実践できるよう指導する。 ②健康出前講座で日常生活において、健康維持のために今よりも+10分体を動かすことを伝え、自宅で実践できる体操を紹介する。 ③ロコモティブシンドローム予防の啓発に講座やチラシ作成を実施する。 	<p>【健推】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①特定保健指導、健康栄養相談時にアクティブガイド(厚労省健康づくりのための身体活動指針)に基づき、個人の生活に沿った身体活動が実践できるよう指導している。 ②健康出前講座で日常生活において、健康維持のために今よりも+10分体を動かすことを伝え、自宅で実践できる体操を紹介した。 ・運動のすすめ:1回(20人受講) ③ロコモティブシンドローム予防の啓発のため、0次予防コホート事業成果報告会にて、京都大学の講師を迎え講演会を実施。12月10日(日):70人出席 ・65歳以上の元気高齢者への啓発を念頭に、ロコモ予防啓発媒体(マグネット)を作成した。

生活習慣病の早期発見と重症化予防

●目標：がんの早期発見と重症化予防

(※〈 〉内はH22県の数値)

具体的目標	評価指標	直近の状況 (出典)	目標値	対策		H28実施結果	H29実施事業計画	H29実施結果	H30実施事業計画
				個人で心がげること	行政や関係機関の取り組み				
女性の胃がんと男性の肺がんの標準化死亡率(ベイズ推定値EBSMR)の減少	女性の胃がんと男性の肺がんの標準化死亡率(ベイズ推定値EBSMR)の減少(H13~H22)	女性の胃がん121.7<108.2> 男性の肺がん110.2<109.7> (H24滋賀県健康づくり支援資料集)	減少傾向			【健推】 ①胃がん検診 50回実施 2856人受診 受診率8.2% ②肺がん検診 33回実施 1747人受診 受診率5.0% ③がんをテーマに出前講座を4回実施。その他のテーマの出前講座も含め、がん予防や検診啓発、チラシ配布を行った。 ④総合健診会場での減塩の啓発を実施した。地域でのみそ汁の塩分測定やイベントや各地区文化祭などでの減塩みそ汁試飲を実施し、啓発した。 ⑤がん検診のパンフレットを作成し、市内かかりつけ医からの受診勧奨を依頼した。	【健推】 ①胃がん検診の実施 ②肺がん検診の実施 ③出前講座でがん予防や検診啓発、チラシ配布を行う。 ④健康推進員による減塩の啓発 ⑤かかりつけ医からのがん検診の受診勧奨	①胃がん検診 50回実施 2836人受診 受診率 8.5% ②肺がん検診 34回実施 1672人受診 受診率 5.0% ③出前講座 5回実施 ④総合健診会場での減塩啓発を実施した。地区でみそ汁の塩分濃度測定やイベント時に減塩みそ汁の試食を行った。 ⑤がん検診のパンフレットを作成し、市内医療機関に配布した。かかりつけ医からのがん検診受診勧奨を依頼した。	【健推】 ①胃がん検診の実施 ②肺がん検診の実施 ③出前講座でがん予防や検診啓発、チラシ配布を行う。 ④健康推進員による減塩の啓発 ⑤かかりつけ医からのがん検診の受診勧奨 ⑥胃がん検診の2年未受診者に勧奨はがき送付。
がんの早期発見と早期治療	がん検診を定期的に受けている人の増加(胃・大腸・肺・乳40歳以上69歳以下/子宮20歳以上69歳以下)	胃:男性:41.6%<35.9%> 女性:32.2%<26.6%> 大腸:男性:35.2%<28.2%> 女性:38.7%<23.9%> 肺:男性:31.8%<20.5%> 女性:20.5%<15.6%> (単純X線撮影含む) 乳:43.8%<28.7%> 子宮:42.6%<34.7%> (健ながアンケート)	35%	・がん検診を定期的に受診する ・がんに関する知識を持つ ・精密検査が必要な場合は検査を受ける	・がん検診の重要性を啓発する ・がん検診を実施するとともに、受診率・精密検査受診率の向上を図る	【健推】 ①がん検診受診意向調査を10,253人に送付し、2,144人から返信(20.9%)あり、879人(40.0%)が予約。がん検診を受診する機会がない人や健康に自信がある等の理由で受診の予定がないと回答された421人に対し電話勧奨を実施、延べ60人が予約。 ②9月にクーポン未利用者にはがきによる利用勧奨を行ない、2月14日の時点では、子宮頸がん検診は36人、乳がん検診は228人、大腸がん検診は255人のクーポン対象者が受診されている。また3月に大腸がん検診を追加日程で実施するため、クーポン未利用で電話番号がわかる対象者359人に電話での勧奨も実施。 ③協会けんぽの特定健診会場にて5日間、がん検診の啓発、受診勧奨を行い、延べ451人が予約。 ④ ・市民団体(ピンクリボン長浜実行委員会)と協働しイベントの開催。 ・がん検診受診率向上プロジェクト推進企業グループ(アフラック、長浜信用金庫)、地域がん診療連携拠点病院、図書館、市民団体と連携し、浅井図書館で展示会を開催。(10日間) ・がん検診受診率向上プロジェクト推進企業グループと協働し、7/3「がんフォーラム」の会場で啓発、企業の店舗で啓発。 ⑤学校保健と連携しがん教育実施の講師調整(3校)やパネル貸し出し(3校)実施。 ⑥広報(計8回)、滋賀夕刊(8月7日掲載)にがん検診について掲載した。	【健推】 ①がん検診受診意向調査を行う。その結果、がん検診を受診する機会のない人には受診勧奨を行う。 ②クーポン未利用者には電話やはがきで利用を案内する。 ③全国健康保険協会(協会けんぽ)と連携し、協会けんぽの特定健診会場にて啓発、受診勧奨を実施する。 ④市民団体等と協働し、がんについての正しい知識の普及とがん検診の受診勧奨を行う。 ⑤子どもががんを学ぶ機会を作るため、学校保健と連携する。 ⑥検診についての正しい知識の普及のため、広報や健康教室で啓発する。 ⑦母親世代に対して、幼児健診や出前講座でがん検診について啓発・受診勧奨を行う。 ⑧新規国保加入者、国保特定健診対象者(受診券送付時)にがん検診の案内チラシを配布。 ⑨大腸がんの医療機関検診実施。	①がん検診受診についての調査を実施。9,896人に送付し、1,952人(19.7%)から回答があった。うち680人ががん検診を予約した。 がん検診を受ける予定がない人のうち「経済的負担あり」「怖い」「健康だ」「受ける場所がわからない」「時間がない」と回答した287人に電話勧奨を行い、22人ががん検診を予約した。 ②9月にクーポン未利用者へのはがきによる受診勧奨を実施した。1・2月に電話にて大腸がん検診(追加)の勧奨をおこなった。2月16日現在、子宮頸がん検診35人、乳がん検診179人、大腸がん検診210人が受診した。 ③協会けんぽの特定健診会場で4日間がん検診受診啓発・勧奨を行った。のべ383人が予約した。 ④ピンクリボン長浜実行委員会と協働し、ピンクリボンながはま2017のイベントを企画したが、雨天のため一部中止となった。がん検診・長浜城ライトアップは実施した。 がん検診受診率向上プロジェクト推進企業グループ(アフラック・長浜信用金庫)・地域がん診療連携拠点病院・図書館・市民団体と連携し、高月図書館で「がんを知らう展」を開催した。 ⑤学校保健・医療・行政の保険分野が連携し、市内13中学校のうち12校でがん教育を実施した。 ⑥長浜市広報紙に年5回、滋賀夕刊に年1回がんの啓発記事を掲載した。 ⑦乳幼児健診で、健診についての啓発チラシを配布した。市内スーパーの店頭で街頭啓発を実施した。	【健推】 ①がん検診受診意向調査を行う。その結果、がん検診を受診する機会のない人には受診勧奨を行う。 ②クーポン未利用者には電話やはがきで利用を案内する。 ③全国健康保険協会(協会けんぽ)と連携し、協会けんぽの特定健診会場にて啓発、受診勧奨を実施する。 ④市民団体等と協働し、がんについての正しい知識の普及とがん検診の受診勧奨を行う。 ⑤子どもががんを学ぶ機会を作るため、学校保健と連携する。 ⑥検診についての正しい知識の普及のため、広報や健康教室で啓発する。 ⑦母親世代に対して、幼児健診や出前講座でがん検診について啓発・受診勧奨を行う。 ⑧新規国保加入者、国保特定健診対象者(受診券送付時)にがん検診の案内チラシを配布。 ⑨大腸がんの医療機関検診実施。
	精検受診率の増加	胃:85.8% 大腸:80.8% 子宮:96.4% 乳:90.4% 肺:95.2% (H24)	100%			【健推】 ①要精検者全員に電話または訪問での精密検査の受診勧奨を行った。 ②がん検診予約者に精検の必要性について書かれたパンフレットを郵送。連絡のつかない精検未受診者に対してパンフレットを郵送。	【健推】 ①精密検査未受診者を把握し、電話や訪問による受診勧奨を行う。 ②検診受診者に精密検査の案内を配布。また要精検者には結果通知時に精密検査実施医療機関一覧やパンフレットを同封し受診につながりやすいよう案内する。	①要精検者へ結果通知後約2週間後に電話や訪問にて精密検査受診勧奨を行った。 ②総合健診会場でがん検診受診者全員に精密検査の案内チラシを配布した。要精検者には、結果通知時に精密検査実施医療機関一覧やパンフレットを同封した。	【健推】 ①精密検査未受診者を把握し、電話や訪問による受診勧奨を行う。 ②検診受診者に精密検査の案内を配布。また要精検者には結果通知時に精密検査実施医療機関一覧やパンフレットを同封し受診につながりやすいよう案内する。

●目標: 高血圧・脂質異常症・糖尿病の早期発見と重症化予防 (※〈 〉内はH22県の数値)

具体的目標	評価指標	直近の状況 (出典)	目標値	対策		H28実施結果	H29実施事業計画	H29実施結果	H30実施事業計画
				個人で心がけること	行政や関係機関の取り組み				
高血圧・脂質異常症・糖尿病の早期発見と重症化予防	介護保険第2号被保険者の原因疾患で脳血管疾患が占める割合の減少	脳血管疾患 92人 50.8% (H24年度)	48.0%			【健推】 ・特定保健指導を297名(実施率54.5%)、結果説明会280名(15回開催)、メタボ撃退教室62名(4回開催)、健康栄養相談実169名延273名に実施した。健診結果を分かりやすく伝え、生活習慣の改善の必要性や具体的な方法について指導を行った。また、健診の継続受診の必要性を説明した。	【健推】 ①特定保健指導を実施する。 ②結果説明会を実施する。 ③健康栄養相談を実施する。	【健推】 ①②③ 特定保健指導を230名(実施率41.0%)、結果説明会220名(14回開催)、ヘルスアップ運動教室71名(4回開催)、健康栄養相談実346名、延454名の実施見込みである。個別に健診結果を分かりやすく伝え、生活習慣の改善の必要性や具体的な方法について指導を行っている。 また、健診の継続受診の必要性を説明している。	【健推】 ①特定保健指導を実施する。 ②結果説明会を実施する。 ③健康栄養相談を実施する。
	高血圧の改善(収縮期血圧の平均値の低下)	男性:129.7mmHg 女性:126.9mmHg (H24特定健診)	男性:127mmHg 女性:124mmHg	・特定健診等を受診する	・特定健診を実施するとともに受診率の向上に努める				
	Ⅱ度高血圧以上の割合の減少(収縮期血圧160mmHg以上又は拡張期血圧100mmHg以上)	223人 4.7% (H24特定健診)	4.0%	・医療機関への受診が必要な場合は受診する ・治療が必要な場合は治療を継続する ・生活習慣を改善する	・健診結果をわかりやすく伝え、生活習慣の改善を促す	【健推】 対象者282名のうち、169名の医療受診を確認した。91名は電話や訪問にて受診勧奨した。	【健推】 医療機関未受診者に対し、受診勧奨を行う。	【健推】 平成30年5月10日現在、対象者295名のうち、179名の医療受診を確認した。68名は電話や訪問にて受診勧奨した。40名は特定保健指導の対象にもなっており、保健指導の勧奨も兼ねて医療機関への受診勧奨を行っている。	【健推】 医療機関未受診者に対し、受診勧奨を行う。
	脂質異常症の減少	LDLコレステロール160mg/dl以上の者の割合 男性:8.1% 女性:10.5% (H24特定健診)	男性:7.0% 女性:9.5%			【健推】 ①対象者282名のうち、169名の医療受診を確認した。91名は電話や訪問にて受診勧奨した。 ②結果説明会280名(15回開催)、メタボ撃退教室62名(4回開催)に実施し、健診結果の見方の説明や生活習慣の改善方法について具体的に指導した。	【健推】 ①医療機関未受診者に対し、受診勧奨を行う。 ②結果説明会を実施する。	【健推】 ①平成30年5月10日現在、対象者295名のうち、179名の医療受診を確認した。68名は電話や訪問にて受診勧奨した。40名は特定保健指導の対象にもなっており、保健指導の勧奨も兼ねて医療機関への受診勧奨を行っている。 ②結果説明会224名(14回開催)、ヘルスアップ運動教室76名(4回開催)、健診結果の見方の説明や生活習慣の改善方法について個別に指導を行っている。	【健推】 ①医療機関未受診者に対し、受診勧奨を行う。 ②結果説明会を実施する。
	血糖コントロール指標におけるコントロール不良者の割合の減少(HbA1cがNGSP値8.4%以上の者の割合の減少)	38人 0.8% <0.6%> (H24特定健診)	0.7%	・治療を継続する ・主治医の指導のもと、生活習慣の改善に努める	・コントロール不良者には個別指導を実施し、適切な医療につなげる	【健推】 対象者3名に訪問や電話で指導をおこなった。うち2名は医療機関を受診した。	【健推】 HbA1c8.0%以上の者に対し訪問・指導を行う。	【健推】 対象者5名に訪問や電話で指導をおこなった。うち4名は医療機関を受診した。	【健推】 HbA1c7.0%以上でかかりつけ医のいない者に対し訪問・指導を行う。
	メタボリックシンドローム該当者及び予備軍の減少	該当者670人 予備軍481人 H20年度に比べて16.4%減 (H24特定健診) <平成20年度に比べて1.3%増加>	20%減	・特定保健指導やその他の保健指導を利用する ・生活習慣を改善する	・生活習慣改善の必要性や具体的な方法について、わかりやすく指導する	【健推】 ・特定保健指導を297名(実施率54.5%)、結果説明会280名(15回開催)、メタボ撃退教室62名(4回開催)、健康栄養相談実169名延273名に実施した。健診結果を分かりやすく伝え、生活習慣の改善の必要性や具体的な方法について指導を行った。また、健診の継続受診の必要性を説明した。	【健推】 ①特定保健指導を実施する。 ②結果説明会を実施する。 ③健康栄養相談を実施する。	【健推】 ①②③ 特定保健指導を242名(実施率46.4%)H30.4末時点)、結果説明会224名(14回開催)、ヘルスアップ運動教室76名(4回開催)、健康栄養相談実581名、延769名の実施見込みである。個別に健診結果を分かりやすく伝え、生活習慣の改善の必要性や具体的な方法について指導を行っている。 また、健診の継続受診の必要性を説明している。	【健推】 ①特定保健指導を実施する。 ②結果説明会を実施する。 ③健康栄養相談を実施する。

具体的目標	評価指標	直近の状況 (出典)	目標値	対策		H28実施結果	H29実施事業計画	H29実施結果	H30実施事業計画
				個人で心がけること	行政や関係機関の取り組み				
高血圧・脂質異常症・糖尿病の早期発見と重症化予防	特定健診等を定期的に受けている人の増加	20歳以上:46.6% 40歳以上:46.6% (健ながアンケート)	60.0%	・特定健診の重要性を啓発する ・健診を受けやすい体制をつくる	・特定健診の重要性を啓発する ・健診を受けやすい体制をつくる	【保険医療課・健推】 電話勧奨を2520人に実施し、767人が受診。大判ハガキや圧着ハガキを20,891人に送付し、1,990人が受診した。 地域づくり協議会や健康推進員と連携し、出前講座やイベントへのブース出展など健康づくり活動や広報やチラシでの健診受診勧奨を実施した。 総合健診ではインターネット予約を実施し、いつでも予約できるようにした。のべ444名が利用した。	【健推・保険医療課】 ①長浜市国民健康保険特定健診対象者に受診勧奨を行う(電話・はがき) ②地域づくり協議会と連携し、健康づくり事業や健診受診の啓発を行う 【健推】 ③長浜市国民健康保険特定健診対象者に受診勧奨を行う(電話・はがき) ④地域づくり協議会と連携し、健康づくり事業や健診受診の啓発を行う ⑤地域住民と会う機会(乳幼児健診、出前講座、地域の文化祭等)で健診の啓発を行う。 ⑥生活圏域ケア会議において、多職種と連携し、健診受診の啓発を行う。	【健推・保険医療課】 ①長浜市国民健康保険特定健診対象者に電話や大判ハガキなどで受診勧奨を行った。 ②地域づくり協議会と連携し、健康づくり事業や健診受診の啓発を行った。 【健推】 ③長浜市国民健康保険特定健診対象者に電話やはがきで受診勧奨を行った。 ④地域づくり協議会や健康推進員と連携し、健康づくり事業や健診受診の啓発を行った。地域の文化祭等の催しに参加した。 ⑤地域住民と会う機会(乳幼児健診、出前講座、地域の文化祭、ショッピングセンター)で健診のチラシやティッシュを配布し、健診の受診啓発を行った。 ⑥生活圏域ケア会議において、多職種と連携し健診受診率等の情報を共有した上で様々な場で健診受診の啓発を行った。	【健推・保険医療課】 ①長浜市国民健康保険特定健診対象者について、過去の受診履歴・健診結果を分析の上、年間を通じて紙媒体や電話による受診勧奨を行う。 ②地域づくり協議会と連携し、健康づくり事業や健診受診の啓発を行う 【健推】 ③長浜市国民健康保険特定健診対象者に受診勧奨を行う(電話・はがき) ④地域づくり協議会と連携し、健康づくり事業や健診受診の啓発を行う ⑤地域住民と会う機会(乳幼児健診、出前講座、地域の文化祭等)で健診の啓発を行う。 ⑥生活圏域ケア会議において、多職種と連携し、健診受診の啓発を行う。
	特定保健指導実施率の向上	21.1%<13.0%> (H24)	60.0%	・特定保健指導やその他の保健指導を利用する	・生活習慣改善の必要性や具体的な方法について、わかりやすく指導する ・保健指導が受けやすい体制をつくる	【健推】 ・特定保健指導を297名(実施率54.5%)、結果説明会280名(15回開催)、メタボ撃退教室62名(4回開催)に実施した。特定保健指導対象者には電話勧奨をおこなった。 ・健康栄養相談実169名延273名に実施した。生活習慣改善の具体的な目標が継続できるように支援した。	【健推】 ①特定保健指導利用を勧奨する。 ②結果説明会を実施する。	【健推】 ①② 特定保健指導を242名(実施率46.4% H30.4末時点)、結果説明会224名(14回開催)、ヘルスアップ運動教室76名(4回開催)、健康栄養相談実581名、延769名の実施見込みである。個別に健診結果を分かりやすく伝え、生活習慣の改善の必要性や具体的な方法について指導を行っている。 また、健診の継続受診の必要性を説明している。	【健推】 ①特定保健指導利用を勧奨する。 ②結果説明会を実施する。
	特定保健指導以外の保健指導を受けた人の増加	のべ55人 (H24栄養相談)	増加傾向	・特定保健指導やその他の保健指導を利用する ・生活習慣を改善する	・生活習慣改善の必要性や具体的な方法について、わかりやすく指導する ・保健指導が受けやすい体制をつくる				

●目標: COPDの発症予防と重症化予防 (※< >内はH22県の数値)

具体的目標	評価指標	直近の状況 (出典)	目標値	対策		H28実施結果	H29実施事業計画	H29実施結果	H30実施事業計画
				個人で心がけること	行政や関係機関の取り組み				
COPDの発症予防と重症化予防	成人喫煙率の低下(「毎日吸う」「時々吸う」人の割合(20歳以上))	男性:24.5%<38.4%> 女性:5.3%<7.4%> (健ながアンケート)	男性:20% 女性:4%	・禁煙に努める	・COPDは喫煙が起因していることを啓発する	【健推】 ①たばこの行政出前講座 ②健康推進員養成講座、ステップアップ講座でタバコが体に与える影響や受動喫煙防止について紹介し、今後の健康推進員活動の参考としてもらう ③特定保健指導、健康栄養相談	【健推】 ①たばこの行政出前講座 ②健康推進員養成講座、ステップアップ研修でCOPDや受動喫煙について説明、推進員活動の参考とする ③地域づくり協議会代表者会議でたばこの害や受動喫煙について説明し、地域の健康づくりに反映してもらう ④妊婦への情報提供 ⑤地区の健康づくりイベントでの周知 ⑥商工会や市内事業所への情報提供 ⑦特定保健指導・健康栄養相談	【健康推進課】 ①②たばこの行政出前講座実施:3回 延118人 虎姫地区健康推進員研修 健康推進員養成講座(出前扱い) 健康推進員ステップアップ講座(出前扱い) ③地域づくり協議会代表者会議でたばこの害や受動喫煙について説明し、市の健康課題であることを啓発するとともに、啓発媒体の貸出し、出前講座など地域で行える事業を紹介した。 H29年6月13日:合計72名出席 ④母子手帳交付時に妊婦・同居者の喫煙状況を確認。該当者へ保健指導 妊婦:15人 (H30年2月22日時点) ⑤地区の健康づくりイベントでスモーカーライザーを用いた啓発を実施。 ・4圏域:45人 ⑥商工振興課の協力のもと、企業内人権研修の総会の場で、企業の喫煙対策に関するアンケート結果の説明、市内の禁煙外来一覧、出前講座や国の補助などの情報提供を実施。 ・市内企業:283社 ⑦特定保健指導で喫煙状況を確認し、禁煙指導実施、必要に応じ禁煙外来情報を提供。	【健推】 ①たばこの行政出前講座 ②健康推進員養成講座、ステップアップ研修でCOPDや受動喫煙について説明、推進員活動の参考とする ③乳幼児健診で喫煙している保護者に対する指導 ④妊婦への情報提供 ⑤地区の健康づくりイベントでの周知 ⑥商工会や市内事業所への情報提供 ⑦特定保健指導・健康栄養相談
							【保険医療課】 喫煙者にCOPDのチラシを郵送する。	【保険医療課】 589人にCOPDのチラシを郵送した。	【保険医療課】 前年度特定健診の問診票で喫煙習慣があると回答した国保被保険者に対し、COPDに関する啓発を紙媒体で行う。

喫煙対策

●目標: 喫煙の害から健康を守る (※く)内はH22県の数値)

具体的目標	評価指標	直近の状況 (出典)	目標値	対策		H28実施結果	H29実施事業計画	H29実施結果	H30実施事業計画
				個人で心がけること	行政や関係機関の取り組み				
未成年者の喫煙を防ぐ	子どもや妊婦の前で喫煙しない人の増加	70.9% (健ながアンケート)	75%	<ul style="list-style-type: none"> 未成年者はたばこを吸わない 未成年者の前でたばこを吸わない たばこを売る時は未成年者でないことを確認するよう努める 	<ul style="list-style-type: none"> 未成年者の喫煙防止に向け、学校に対して特別活動や総合的な学習の場で啓発活動を行う 喫煙の害についての情報提供に努める 未成年者の前で喫煙しないよう働きかける 	<p>【すこやか】</p> <ul style="list-style-type: none"> 小中学校の保健学習において、喫煙の害について学ぶ。 薬物乱用防止教室を実施する。 ※全中学校実施、小学校についてもほぼ全校で実施 がん教育の中でリスクの1つとして喫煙の害についてふれる。 <p>【健康推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①喫煙啓発パネル等の媒体を小学校1校へ貸し出した。 また、小学校の健康教育で喫煙による害について短時間の講座を実施。実施校は1校。(93人受講) ②市内イベントでの呼気中一酸化炭素測定、パネル類展示、禁煙指導を計7回、延べ290人へ実施 健康フェスティバル 長浜農業高校文化祭 湖北口腔フェスティバル 西黒田福祉の日イベント エコチルフェスタ 木之本わいわいフェスタ 浅井田根祭り 	<p>【すこやか】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①小中学校の保健学習において、喫煙の害について学ぶ。 ②薬物乱用防止教室を実施する。 ③がん教育の中でリスクの1つとして喫煙の害についてふれる。 <p>【健推】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①希望があった市内小中学校へ喫煙の害についてのパネル等啓発物品の貸出を行う。 ②市内小中学校の健康づくりイベントでタバコの害について啓発する。 ③各健康づくりイベント等において呼気の一酸化炭素測定、パネル展示、禁煙指導を行う。 ④市内事業所、商工会、地域づくり協議会、健康推進員が集まる研修などで、妊婦や未成年へのタバコの害・受動喫煙対策について説明する。 	<p>【すこやか】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①小中学校の保健学習において、喫煙の害について学んだ。 ②薬物乱用防止教室を実施した。 ※全小中学校で実施 ③がん教育の中でリスクの1つとして喫煙の害についてふれる。 <p>【健推】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①希望があった市内小中学校へ喫煙の害についてのパネル等啓発物品の貸出を行う。 貸出し数: 3校 ②市内小中学校の健康づくりイベントでタバコの害について啓発した。 がん教育の場でたばこの害などに触れた。(12校) ③各健康づくりイベント等において呼気の一酸化炭素測定、パネル展示、禁煙指導を行った。(340人受講) 健康フェスティバル 長浜農業高校文化祭 湖北口腔フェスティバル エコチルフェスタ 田根まつり 湯田まつり 下草野まつり ④市内事業所、商工会、地域づくり協議会、健康推進員が集まる研修などで、妊婦や未成年へのタバコの害・受動喫煙対策について説明した。 市内人権研修総会で説明: 283社 地域づくり協議会総会で説明: 72人参加 	<p>【すこやか】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①小中学校の教科(体育・保健体育)において喫煙の害について学ぶ。 ②薬物乱用防止教室を実施する。 ③がん教育の中でリスクの1つとして喫煙の害についてふれる。 <p>【健推】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①希望があった市内小中学校へ喫煙の害についてのパネル等啓発物品の貸出を行う。 ②市内小中学校の健康づくりイベント・がん教育でタバコの害について啓発する。 ③各健康づくりイベント等において呼気の一酸化炭素測定、パネル展示、禁煙指導を行う。 ④市内事業所、商工会、地域づくり協議会、健康推進員が集まる研修などで、妊婦や未成年へのタバコの害・受動喫煙対策について説明する。
受動喫煙を防止する	企業における分煙・禁煙を実施しているところの増加	90.3% (H23長浜市調査)	95%	<ul style="list-style-type: none"> 家庭での禁煙・分煙を徹底する 喫煙者は決められた場所で喫煙する 受動喫煙の害を理解する 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の人が集まる場所は、禁煙・分煙にするよう働きかける 喫煙場所や禁煙の表示をわかりやすくする 受動喫煙の害についての情報提供に努める 	<p>【すこやか】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内全校園において敷地内禁煙を継続実施。 小学6年生および中学生の保健学習において受動喫煙の害について学ぶ。 啓発運動等の資料を各校に提供した。 <p>【健推】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①H29年2月号の滋賀夕刊に新しいたばこと受動喫煙に関する記事を掲載 ②H28年5月15日号の広報にて世界禁煙デーについて周知 ④健康推進員養成講座にて喫煙の害について講座実施 12人受講 健康推進員ステップアップ講座で喫煙の害について講座実施 80人受講 ⑤市内事業所283ヶ所に受動喫煙対策についてのアンケート実施。回収133部 回収率47% ⑥受動喫煙啓発ポスターを作成 官公庁、公民館、保健所、社会福祉協議会、市内医療機関(歯科含む)、薬局へ配布(248ヶ所) 市内自治会配布: 446ヶ所 ※自治会発送はH29年4月 	<p>【すこやか】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①市内全校園において敷地内禁煙を継続実施する。 ②小学6年生および中学生の保健学習において受動喫煙の害について学んだ。 ③啓発運動等の資料を各校に提供した。 <p>【健推】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①29年6月号の滋賀夕刊で受動喫煙防止に関する記事を掲載する。 ②29年5月15日号広報で世界禁煙デー及びタバコの害について啓発した。 ③未実施 ④5喫煙に関する出前講座実施 3回(延118人受講) ※健康推進員養成講座・ステップアップ研修含む ※ステップアップ研修では保健所たばこ担当よりイエローカードの説明を実施 ⑤企業へ行った受動喫煙対策アンケート結果を、市内事業所へ返却する。同時に受動喫煙防止、出前講座や国の補助制度などの情報提供を行った。 市内企業内人権研修総会で実施: 283社 ⑥受動喫煙防止啓発ポスターを企業、自治会へ郵送した。 市内企業: 283社 ⑦保健所および市役所関係課と連携して、庁舎内、駅周辺、観光地の受動喫煙防止対策を推進した。 労働安全衛生委員会で議題にあげる 環境保全課と協議し、加熱式たばこも路上喫煙防止条例の対象となることで意見統一 ⑧保健所および市役所関係課と連携して、庁舎内、駅周辺、観光地の受動喫煙防止対策を推進する。 	<p>【すこやか】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①市内全校園において敷地内禁煙を継続実施する。 ②小中学校の教科(体育・保健体育)において受動喫煙の害について学ぶ。 ③啓発運動等の資料を各校に提供する。 <p>【健推】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①乳幼児健診時にたばこに関するチラシを配布し、受動喫煙防止の指導を行う。 ②広報でタバコの害について啓発する。 ③市のホームページでタバコの害・受動喫煙について啓発する。 ④喫煙に関する出前講座実施 ⑤健康推進員養成講座、ステップアップ講座で、たばこが体に与える影響や受動喫煙防止について紹介し、健康推進員活動の参考にしてもらう。 ⑥市内企業などへ受動喫煙防止、出前講座や国の補助制度などの情報提供を行う。 ⑦受動喫煙防止啓発ポスターを企業へ郵送する。 ⑧保健所および市役所関係課と連携して、庁舎内、駅周辺、観光地の受動喫煙防止対策を推進する。 	

具体的目標	評価指標	直近の状況 (出典)	目標値	対策		H28実施結果	H29実施事業計画	H29実施結果	H30実施事業計画
				個人で心がけること	行政や関係機関の取り組み				
禁煙を支援する	成人喫煙率の低下 〔「毎日吸う」「時々吸う」人の割合 20歳以上〕	男性:24.5%<38.4%> 女性:5.3%<7.4%> (健ながアンケート)	男性:20% 女性:4%	・禁煙支援を医療機関、保健センターで受けられることを知る ・禁煙できるように家族等がサポートする ・妊娠期のたばこの影響について知り、喫煙をしない	・禁煙支援の充実を図る ・禁煙支援が受けられる機関は、その情報提供に努める ・喫煙の害についての情報提供に努める ・妊娠届出時に禁煙の啓発をする	【健進】 ①特定保健指導で喫煙状況を確認し、禁煙指導実施 ②健診結果説明会にて、喫煙者及び希望者に呼気中一酸化炭素濃度を測定し禁煙啓発及び指導を実施 148人 ③H28年5月15日号の広報にて世界禁煙デー及び市の禁煙相談窓口について周知 ④健康推進員養成講座及びステップアップ講座で禁煙方法及び市の取組みについて紹介した 92人	【健進】 ①特定保健指導で喫煙状況を確認し、禁煙指導実施、必要に応じ禁煙外来情報を提供 ②健診結果説明会にて、喫煙者及び希望者に呼気中一酸化炭素濃度を測定し禁煙啓発及び指導を実施、必要に応じ禁煙外来情報を提供 95人(H30年2月23日時点) ③H29年5月15日号の広報にて世界禁煙デー及び市の禁煙相談窓口について周知について周知 ④滋賀夕刊6月号と図書貸出レシート5月号で啓発 ⑤健康推進員養成講座及びステップアップ講座で禁煙方法及び市の取組みについて紹介 ⑥市内事業所や自治会関係者が集まる場で、喫煙の害や市の喫煙対策、禁煙外来などの情報提供を行った。	【健進】 ①特定保健指導で喫煙状況を確認し、禁煙指導実施、必要に応じ禁煙外来情報を提供 ②健診結果説明会にて、喫煙者及び希望者に呼気中一酸化炭素濃度を測定し禁煙啓発及び指導を実施、必要に応じ禁煙外来情報を提供 ③図書館での啓発チラシの配布 ④健康推進員養成講座及びステップアップ講座で禁煙方法及び市の取組みについて紹介 ⑤市内事業所や自治会関係者が集まる場で、喫煙の害や市の喫煙対策、禁煙外来などの情報提供を行う	
	妊婦の喫煙者をなくす	3.6% (H25.5～9月妊婦お尋ね票) (H22国 5%)	0%			【健推】 ①妊娠届出時に妊婦・夫の喫煙状況を聞き取り、喫煙者39人に喫煙の影響について指導した。	【健推】 ①妊娠届出時の聞き取り票にて妊婦・夫の喫煙状況を聞き取る。喫煙の影響について指導する。 ・妊婦: 15人(H30年2月22日時点)	【健康推進課】 母子手帳交付時に妊婦・同居者の喫煙状況を確認。該当者へ保健指導。 ・妊婦: 15人(H30年2月22日時点)	【健推】 ①妊娠届出時の聞き取り票にて妊婦・夫の喫煙状況を聞き取る。喫煙の影響について指導する。

飲酒対策

●目標:飲酒の害から健康を守る (※〈 〉内はH22県の数値)

具体的目標	評価指標	直近の状況 (出典)	目標値	対策		H28実施結果	H29実施事業計画	H29実施結果	H30実施事業計画
				個人で心がけること	行政や関係機関の取り組み				
生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人を減らす	週1回以上飲酒する人のうち、1日あたりの純アルコール摂取量が男性40g以上女性20g以上の人の割合の減少(20歳以上)	男性:22.6%<21.8% 女性:7.6%<5.8% (健ながアンケート)	男性:20.0% 女性:6.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・休肝日をつくる ・飲酒する場合は節度のある適度な飲酒量(1日1合程度)を知る ・一気飲みや無理な飲み方をせず、周囲に強要しない 	<ul style="list-style-type: none"> ・飲酒の害について企業内・地域研修をする ・健診や相談で適正飲酒量を伝える ・アルコールに対する体質を知る機会をつくる 	<p>【健推】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定保健指導時や健康栄養相談実施時に飲酒の適正量(1合)を超えている方にはパンフレットを参考に適正量を伝えた。 ・飲酒に関する健康出前講座は申し込みがなく実施なし。 ・健康推進員養成講座 H28.6.29にて周知実施。(12人受講) 	<p>【健推】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①特定保健指導時や健康栄養相談実施時にパンフレットを用いて指導 ②飲酒に関する健康出前講座 ③健康推進員養成講座での周知 	<ul style="list-style-type: none"> ①特定保健指導や健康栄養相談実施時に、適正量(1合)を超えて飲酒している人には、パンフレット等を用いて適正量の指導を行った。 ②平成29年度はたばこ・飲酒の内容での健康出前講座を3回実施した。 ③健康推進員養成講座で「喫煙とアルコール」の内容で講義を行った。(11人受講) 	<p>【健推】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①特定保健指導時や健康栄養相談実施時にパンフレットを用いて指導 ②飲酒に関する健康出前講座 ③健康推進員養成講座での周知
妊婦・未成年の飲酒を防ぐ	地域で未成年者にお酒を勧める人の減少	4.8% (健ながアンケート)	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・未成年者にはお酒を飲ませない ・未成年者にお酒を勧めない ・未成年者が飲酒による身体への影響を知る ・未成年者の目につくところにお酒を置かない ・妊娠期や授乳期間中のアルコールの影響を知る 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校でアルコールの教育をする ・PTA等を対象に未成年者に及ぼす飲酒の害について啓発をする ・地域の集まり等で飲酒を強要しないよう周知する ・未成年の飲酒による身体への影響について周知する ・妊娠届出時にアルコールの影響について啓発する 	<p>【すこやか】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育科(保健領域)での学習 小学校6年生 飲酒の害 中学校 心身への急性影響 依存性 始めるきっかけと防止対策 	<p>【すこやか】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①体育科(保健領域)での学習 ②薬物乱用防止教育の中で、飲酒の害にふれる。 	<p>【すこやか】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①体育科(保健領域)での学習 小学校 飲酒の害 中学校 飲酒が健康に及ぼす影響 未成年者の飲酒の害 ②薬物乱用防止教育の中で、飲酒の害にふれる。 	<p>【すこやか】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①教科(体育、保健体育)での学習 ②薬物乱用防止教室の中で、飲酒の害にふれる。 ③がん教育の中でリスクの1つとして飲酒についてふれる。
	妊婦の飲酒を防ぐ	5.5% (H25.5~9月妊婦お尋ね票) (H22国 8.7%)	0%		<p>【健推】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①妊娠届出時の聞き取り票にて妊婦飲酒状況を聞き取り、9人に飲酒の影響について指導した。 ②飲酒に関する出前講座は申し込みがなく実施なし。 ③健康推進員養成講座 H28.6.29にて周知実施。(12人受講) 	<p>【健推】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①妊娠届出時の聞き取り票にて妊婦飲酒状況を聞き取る。飲酒の影響について指導。 ②飲酒に関する健康出前講座 ③健康推進員養成講座での周知 	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠届け時の妊婦おだずね票より、飲酒習慣がある人3人には飲酒が赤ちゃんに与える影響について指導した。 ・平成29年度はたばこ・飲酒の内容での健康出前講座を3回実施した。 ・健康推進員養成講座で「喫煙とアルコール」の内容で講義を行った。(11人受講) 	<p>【健推】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①妊娠届出時の聞き取り票にて妊婦飲酒状況を聞き取る。飲酒の影響について指導。 ②飲酒に関する健康出前講座 ③健康推進員養成講座での周知 	

こころ・休養

●目標:こころが健康で社会活動できる (※く)内はH22県の数値)

具体的目標	評価指標	直近の状況 (出典)	目標値	対策		H28実施結果	H29実施事業計画	H29実施結果	H30実施事業計画					
				個人で心がけること	行政や関係機関の取り組み									
生活のリズムを整える	規則正しい生活をしている人の増加	男性:25.8%<22.6% 女性:34.3%<31.9% (健ながアンケート)	男性:30% 女性:40%	・規則正しい生活を心がけ、十分な睡眠をとる ・朝食を食べる	・こころの健康と生活リズムの関連性について啓発をする	【健推】 ①10か月児健診時チラシ配布 1008人 ②出前講座(心と睡眠) 8回 129人受講	【健推】 ①10か月児健診時、心身の健康と生活リズムについてチラシを配布して説明する。 ②出前講座(心と体の休息について)で生活リズムと心の健康の関連について説明する。	①10か月児健診時、生活リズムについてのチラシを配布(880人) ②出前講座(心と睡眠) 3回 65人受講	【健推】 ①10か月児健診時、睡眠と生活リズムについてのチラシを配布し、説明する。					
	睡眠による休養がとれている人の増加(睡眠が「十分とれている」「まあとれている」人の割合)	男性:79.5%<75.6% 女性:79.3%<73.8% (健ながアンケート)	80%											
うつについて理解でき、早期に対応できる	自殺者の減少	29人 23.7% (H22)	20人 16.5% (H24)	・心の悩みを相談できる機関を知る ・悩みや不安を相談できる相手を持つ	・こころの健康の重要性とうつ等の正しい知識の普及啓発をする	【健推】 ①出前講座(心と睡眠) 8回 129人受講 出前講座(ゲートキーパー) 1回 13人受講 ②職場でメンタルヘルス研修(ゲートキーパー養成研修)3企業 128人受講 健康推進員養成講座 11人受講 ゲートキーパーフォローアップ 2会場42人受講 ③心の健康相談会 年6回 18人 ④新生児訪問とこころには赤ちゃん訪問において975人	【健推】 ①出前講座での啓発(心と体の休息) ②ゲートキーパー養成研修 企業向け、基礎編、応用編で説明 ③心の健康相談会の実施 ④新生児訪問時や4か月健診時母親へ産後うつ啓発パンフレット配布	①出前講座(心と睡眠)3回 65人受講 出前講座(ゲートキーパー)1回16人受講 ②職場でメンタルヘルスケア研修(ゲートキーパー養成研修)3企業157人受講、健康推進員養成講座10人受講、みんなでゲートキーパー研修基礎編 47人、応用編26人受講 ③心の健康相談会 年6回 18人 ④全数の新生児訪問において産後うつ啓発のパンフレット配布 875人	【健推】 ①ゲートキーパー養成研修を企業向け及び市職員向けに実施 ②心の健康相談会の実施 ③新生児訪問時や4か月健診時、母親へ産後うつ啓発パンフレットを配布し説明する。					
	うつサインを知っている人の増加(「よく知っていた」「少しは知っていた」人の割合)	77.9% (健ながアンケート)	80%							・保健所や医師会と連携する ・精神科専門医の確保について県に働きかける	【健推】 ①相談窓口チラシを配布 602枚 ②ゲートキーパー養成講座を3企業と出前講座、推進員養成講座で実施 計152人 フォローアップ研修を2会場で実施 41人	【健推】 ①相談窓口一覧チラシをゲートキーパー養成研修受講者や各関係機関等に配布する	①相談窓口一覧チラシ配布 588枚 ②ゲートキーパー養成講座を3企業、基礎編、応用編、出前講座、健康推進員養成講座で実施 計256人	【健推】 ①相談窓口一覧チラシをゲートキーパー養成研修受講者や中学生、各関係機関等に配布する。 ②ゲートキーパー研修を3企業、市職員、出前講座、健康推進員養成講座で実施
	自分自身のうつのサインに気付いたとき「なにもしない」人の減少	10.6% (健ながアンケート)	10%											
家庭・地域でほどよいつながりが持てる	不安や悩みの相談相手がいる人の増加	80.7% (健ながアンケート)	85%	・悩みや不安を持つ人に声をかける ・地域の公民館活動等に参加する ・家族とのコミュニケーションを持つ ・家庭や地域で役割を持つ	・地域で人との交流の場を作る ・家族・隣近所の声かけ運動の推進をする ・こころの病気を理解して、活動する人を支援する(ゲートキーパーを養成する)	【健推】 小中学校用啓発用DVDを購入	【健推】 養護教諭部会でDVD貸出の啓発を行う	【健推】 DVD貸出実績なし	【健推】 小中学校用啓発用DVDの貸し出しを、養教部会で啓発する。					
	自殺予防やうつについての研修を受けた人(ゲートキーパー)の増加	1,223人 (平成23~25年度養成)	H30のべ2,700人							【健推】 ①出前講座(心と睡眠) 8回 129人受講 出前講座(ゲートキーパー) 1回 13人受講 ②職場でメンタルヘルス研修(ゲートキーパー養成研修)3企業 128人受講 健康推進員養成講座 11人受講 ゲートキーパーフォローアップ 2会場42人受講 ③心の健康相談会 年6回 18人 ④新生児訪問とこころには赤ちゃん訪問において975人	【健推】 ①出前講座での啓発(心と体の休息) ②ゲートキーパー養成研修(企業向け、基礎編、応用編)H29年度新規400人養成予定 ③心の健康相談会の実施 ④新生児訪問時や4か月健診時母親へ産後うつ啓発パンフレット配布	①出前講座(心と睡眠)3回 65人受講 出前講座(ゲートキーパー)1回16人受講 ②職場でメンタルヘルスケア研修(ゲートキーパー養成研修)3企業157人受講、健康推進員養成講座10人受講、みんなでゲートキーパー研修基礎編 47人、応用編26人受講 ③心の健康相談会 年6回 18人 ④全数の新生児875人	【健推】 ①「ゲートキーパー養成研修(企業向け、市職員向け) ②心の健康相談会の実施 ③新生児訪問時や4か月健診において産後うつ啓発のパンフレットを配布する。	
ワークライフバランスがとれる	「地域活動」「学習・趣味・スポーツ」のための時間が取れている人の増加(「十分取れている」「まあ取れている」)	地域活動 34.2% 学習・趣味・スポーツ 42.5% (健ながアンケート)	地域活動学習・趣味・スポーツ 50%	・職場におけるストレス(残業等)について関心を高める ・企業向けの講座をする ・趣味やスポーツ活動の振興に努める	【健推】 職場でメンタルヘルス研修(ゲートキーパー養成研修)3企業 128人受講	【健推】 企業向けに職場でのメンタルヘルス研修の実施(ゲートキーパー養成研修)3企業予定	職場でメンタルヘルス研修(ゲートキーパー養成研修)3企業 157人受講	【健推】 企業向けに職場でメンタルヘルス研修の実施(ゲートキーパー養成研修)3企業実施予定						

歯・口腔の健康

●目標: 歯・口腔の健康を保ち、はつらつと生活できる (※く)内はH22県の数値)

具体的目標	評価指標	直近の状況 (出典)	目標値	対策		H28実施結果	H29実施事業計画	H29実施結果	H30実施事業計画
				個人で心がけること	行政や関係機関の取り組み				
	むし歯のない人の増加	3歳児:73.9%<80.1%> (H24) 12歳児(中学1年生):53.0%<60.6%> (H24) (滋賀県歯科保健関係資料集H24年度版等)	3歳児:83% 12歳児:65.5%	・歯と口腔の健康に関する正しい知識をもつ ・自分にあった歯磨きの方法、補助用具の使用方法を身につける ・歯科のかかりつけ医をもつ ・定期的に歯科健(検)診を受ける	・歯と口腔の健康に関する正しい知識の啓発をする ・関係機関との連携を図る ・歯科健(検)診が受けられる機会を設ける	【健推】 ①・長浜・高月の2会場で実施 144回 3,962人 ・1歳8か月児、2歳8か月児健診時でのむし歯ハイリスク児に対し、健診後の電話訪問や来所相談、手紙等でのフォローを実施。 ②・母子手帳配布時に歯科健診の受診勧奨および啓発チラシ配布(随時) ・マタニティ広場で啓発 3回 ③結果説明会実践編 4回 ④歯周病検診 18回364人 ⑤出前講座 38回 ⑥事業内容について打合せを実施 ⑦広報ながはま6月、11月、滋賀夕刊 11月に啓発記事掲載 ⑧長浜市健康づくり推進協議会 歯科保健専門部会の開催 H29:2	【健推】 ①乳幼児歯科健康診査事業(10か月児～3歳8か月児)年齢に応じた歯科保健指導を実施。また、歯科健診時にむし歯ハイリスク児をスクリーニングし、健診後6か月間のフォローを行う。 ②妊娠中の人に対して歯科健診の推進及び歯科啓発を実施 ③パパチャレンジ講座の開催 ④成人歯科健康相談(結果説明会基礎編で実施)主に歯周病に関する相談及び助言 ⑤歯周病検診 自覚症状の少ない歯周病に対し早期対処がとれるよう指導を実施 ⑥出前講座(支援センター、推進員、老人会等) ⑦母子及び成人検診の出動及び事業内容等について、歯科医師会との連携を図る ⑧広報紙での啓発 ⑨長浜市健康づくり推進協議会 歯科保健専門部会の開催	【健推】 ①長浜・高月の2会場で実施 144回 ・1歳8か月児、2歳8か月児健診時でのむし歯ハイリスク児に対し、健診後の電話訪問や来所相談、手紙等でのフォローを実施。 ②母子手帳配布時に歯科健診の受診勧奨および啓発チラシ配布(随時) ・マタニティ広場で啓発 7/29、10/14、3/10 ③パパチャレンジ講座 11/12 13組 ④結果説明会基礎編 14回 220人 ⑤歯周病検診 18回399人 ⑥出前講座 24回334人 ⑦随時実施 ⑧広報ながはま6月、11月啓発記事掲載 ⑨長浜市健康づくり推進協議会 歯科保健専門部会の開催 2/8	【健推】 ①乳幼児歯科健康診査事業(10か月児～3歳8か月児)年齢に応じた歯科保健指導を実施。また、歯科健診時にむし歯ハイリスク児をスクリーニングし、健診後6か月間のフォローを行う。 ②妊娠中の人に対して歯科健診の推進及び歯科啓発を実施 ③パパチャレンジ講座の開催 ④成人歯科健康相談(結果説明会基礎編で実施)主に歯周病に関する相談及び助言 ⑤歯周病検診 自覚症状の少ない歯周病に対し早期対処がとれるよう指導を実施 ⑥出前講座(支援センター、推進員、老人会等) ⑦母子及び成人検診の出動及び事業内容等について、歯科医師会との連携を図る ⑧広報紙での啓発 ⑨長浜市健康づくり推進協議会 歯科保健専門部会の開催
むし歯・歯周病による歯の喪失を防ぐ	1人当たりのむし歯本数の減少	3歳児 1.08本<0.69本>(H24) 12歳児(中学1年生) 1.2本<1.06本>(H24) (滋賀県歯科保健関係資料集H24年度版等)	3歳児 :0.8本 12歳児 :0.8本	・定期的な歯科医療機関へ歯石をとりに行く ・フッ素について正しく理解する ・定期的にフッ素を利用する(フッ素塗布、フッ素入り歯磨き剤等)	・ブラッシング指導が受けられる機会を設ける ・定期健(検)診の必要性についての啓発をする ・フッ素について正しい知識の啓発をする	【健推】 ①長浜・高月の2会場で実施 144回 3,962人 ②結果説明会実践編 4回 ③歯周病検診 18回364人	【健推】 ①乳幼児歯科健康診査事業(10か月児～3歳8か月児) ②成人歯科健康相談 ③歯周病検診	【健推】 ①長浜・高月の2会場で実施 144回 ②結果説明会基礎編 14回 220人 ③歯周病検診 18回399人	【健推】 ①乳幼児歯科健康診査事業(10か月児～3歳8か月児) ②成人歯科健康相談 ③歯周病検診
	60歳代で24本以上の歯がある人の増加	59.9%<49.5%> (健ながアンケート)	70%	・食後に歯磨きをする ・仕上げ磨きをする	・歯科医院、健診等での定期的なフッ素塗布を推進する(フッ素塗布の際にはインフォームドコンセントを実施する)	【健推】 ①歯周病検診 18回364人 ②出前講座 38回	【健推】 ①歯周病検診 ②出前講座	【健推】 ①歯周病検診 18回399人 ②出前講座 24回334人	【健推】 ①歯周病検診 ②出前講座
	噛むことに満足している人の増加(30～64歳)	76.8% (健ながアンケート)	85%	・おやつのお茶を飲んだり、うがいを ・おやつ時間を決める	・歯科のかかりつけ医をもつよう啓発をする	【健推】 ①歯周病検診 18回364人 ②出前講座 38回	【健推】 ①歯周病検診 ②出前講座	【健推】 ①歯周病検診 18回399人 ②出前講座 24回334人	【健推】 ①歯周病検診 ②出前講座
	定期的に歯科を受診している人の増加	34% (健ながアンケート)	40%	・よく噛んで食べる習慣をつける		【健推】 ①長浜・高月の2会場で実施 144回 3,962人 ②結果説明会実践編 4回 ③歯周病検診 18回364人 ④出前講座 38回 ⑤広報ながはま、滋賀夕刊等に啓発記事掲載	【健推】 ①乳幼児歯科健康診査事業(10か月児～3歳8か月児) ②成人歯科健康相談 ③歯周病検診 ④出前講座 ⑤広報紙での啓発	【健推】 ①長浜・高月の2会場で実施 144回 ②結果説明会基礎編 14回 220人 ③歯周病検診 18回399人 ④出前講座 24回334人 ⑤広報ながはま6月、11月啓発記事掲載	【健推】 ①乳幼児歯科健康診査事業(10か月児～3歳8か月児) ②成人歯科健康相談 ③歯周病検診 ④出前講座 ⑤広報紙での啓発
	歯ぐきから血が出る人の減少(30～64歳)	42.6% (健ながアンケート)	30%			【健推】 ①18回364人 ②出前講座 38回 ③広報ながはま、滋賀夕刊等に啓発記事掲載	【健推】 ①歯周病検診 ②出前講座 ③広報紙での啓発	【健推】 ①歯周病検診 18回399人 ②出前講座 24回334人 ③広報ながはま6月、11月啓発記事掲載	【健推】 ①歯周病検診 ②出前講座 ③広報紙での啓発
高齢者の口腔機能(口の動き)が維持・向上できる	80歳代で20本以上の歯がある人の増加	29.2% (健ながアンケート)	34%	・口腔体操をする ・口腔ケア(歯磨き、舌のケア)をする	・口腔機能を高めるための情報を提供する	【健推】 ①歯周病検診 18回364人 ②出前講座 38回 ③広報ながはま、滋賀夕刊等に啓発記事掲載	【健推】 ①歯周病検診 ②出前講座 ③広報紙での啓発	【健推】 ①歯周病検診 18回399人 ②出前講座 24回334人 ③広報ながはま6月、11月啓発記事掲載	【健推】 ①歯周病検診 ②出前講座 ③広報紙での啓発
	噛むことに満足している人の増加(75歳以上)	66.0% (健ながアンケート)	71%	・歯科のかかりつけ医を持ち、定期的に歯科健(検)診を受ける					

高齢者の健康

●目標:高齢になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる (※〈 〉内はH22県の数値)

具体的目標	評価指標	直近の状況 (出典)	目標値	対策		H28実施結果	H29実施事業計画	H29実施結果	H30実施事業計画
				個人で心がけること	行政や関係機関の取り組み				
ロコモティブシンドロームの予防に努める	継続して運動する人の増加(65歳以上)	65歳以上 男性:24.8%<35.4%> 女性:32.7%<23.8%> (健ながアンケート)	65歳以上 男性:30% 女性:38%	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の必要性や体に良い運動方法についての情報を提供する ・ウォーキング教室等のイベントや運動のできる場についての情報を提供する ・高齢者の外出する機会を増やすために各種教室等、外出を促すよう心掛ける ・身近なところで継続して運動できる場の提供する ・仲間作りができる取り組みや運動の自主グループの立ち上げを支援する 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校、地域、職場で開催される行事やスポーツレクリエーション等に積極的に参加する ・運動を楽しむために仲間を作る ・日常生活で体を動かすよう心がけるとともに、積極的に外出する 	<p>【健推】</p> <p>①特定保健指導を実297人(初回実施率54.5%)、健康栄養相談を実169人、延べ273人、健診結果説明会(実践編)を4回実62人に実施し、運動の効果や必要性を伝え、個別に応じた運動習慣の確立を支援した。</p> <p>②ながはま健康ウォークを開催(9月27日～11月17日)し、延べ1,015人(実745人)が参加し、11人に特定保健指導を実施し、運動の継続・定着を支援した。</p> <p>③滋賀夕刊に運動啓発に 関する記事を掲載した。計2回(健康ウォーク、ロコモ予防)</p> <p>④健康推進員養成講座で2回延べ19人、ステップアップ研修で2回延べ95人に運動指導と実践を行った。</p> <p>⑤運動+1出前講座 8回 延べ137人</p> <p>⑥転倒予防出前講座 8回 延べ220人</p> <p>⑦健診結果説明会にて希望者に市内の運動に関する社会資源一覧表を配布し、運動の継続等を支援した。</p>	<p>【健推】</p> <p>①特定保健指導対象者や健康栄養相談実施者、健診結果説明会の実践編参加者に運動の効果や必要性を伝える。</p> <p>②ながはま健康ウォークの開催</p> <p>③滋賀夕刊に運動啓発に 関する記事を提供を実施。</p> <p>④健康推進員養成講座、ステップアップ研修で運動を実践。</p> <p>⑤運動+10に関する健康出前講座実施。</p> <p>⑥転倒予防に関する健康出前講座実施。</p> <p>⑦まちづくりセンター等で行われている、運動サークル等の社会資源一覧を作成し、健康相談時に市民へ紹介する。</p> <p>⑧ロコモティブシンドローム予防について、講座やチラシなど作成し啓発する。</p>	<p>【健推】</p> <p>①特定保健指導を242名(実施率46.4%H30.4末時点)、結果説明会224名(14回開催)、ヘルスアップ運動教室76名(4回開催)、健康栄養相談実581名、延769名の実施見込みである。個別に健診結果を分かりやすく伝え、生活習慣の改善の必要性や具体的な方法の中で運動習慣の確立について指導を行っている。</p> <p>②ながはま健康ウォークを開催(9月26日～11月9日)し、延べ822人(実595人)が参加し、5人に特定保健指導を実施し、運動の継続・定着を支援した。</p> <p>③滋賀夕刊に運動啓発に 関する記事を掲載した。計1回(運動の大切さ)</p> <p>④健康推進員養成講座で2回延べ19人、ステップアップ研修で2回延べ95人に運動指導と実践を行った。</p> <p>⑤運動+1出前講座 2回 延べ52人</p> <p>⑥転倒予防出前講座 4回 延べ105人</p> <p>⑦まちづくりセンター等で行われる運動サークル等の社会資源一覧を作成し、健康相談や結果説明会、ロコモティブシンドローム講演会等で市民に配布した。</p> <p>⑧12月10日に0次健診受診者以外の市民にロコモティブシンドローム講演会を実施し、70人の参加者があった。出前講座等で市民に配布できるマグネット媒体を作成した。</p>	<p>【健推】</p> <p>①特定保健指導対象者や健康栄養相談実施者、健診結果説明会の実践編参加者に運動の効果や必要性を伝える。</p> <p>②ながはま健康ウォークの開催</p> <p>③健康推進員養成講座、ステップアップ研修で運動を実践。</p> <p>④生活習慣病の出前講座の中で、運動+10や転倒予防に関する講座をいれる。</p> <p>⑤まちづくりセンター等で行われている、運動サークル等の社会資源一覧を作成し、健康相談時に市民へ紹介する。</p> <p>⑥介護予防の出前講座やイベントでロコモティブシンドローム予防について啓発する。</p>
	転倒予防教室自主グループ参加者数の増加	1,476人 (平成24年3月現在把握数、地域包括支援課)	2,700人(H28) ※長浜市基本構想中期的計画	<ul style="list-style-type: none"> ・各自自治会等で実施するサロンを支援する 	<p>【高齢】</p> <p>①転倒自主グループの把握 156か所(2,661人)</p> <p>②転倒予防自主グループ支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体力測定 43グループ ・活動支援 22グループ ・きょうせ体操(もしくは簡易版)DVD(ビデオ)、リズム体操のDVDの貸与 <p>③転倒予防自主グループを対象とした研修会(きょうせ大会)の実施 5会場実施(合計179人参加)</p>	<p>【高齢】</p> <p>①転倒自主グループの把握 166か所(2,820人)</p> <p>②転倒予防自主グループ支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体力測定 50グループ ・活動支援 120グループ(サロン含む) ・きょうせ体操(もしくは簡易版)DVD(ビデオ)、リズム体操のDVDの貸与 <p>③転倒予防自主グループを対象とした研修会(きょうせ大会)の実施 5会場実施</p>	<p>【高齢】</p> <p>①転倒自主グループの把握 161か所(2,462人)</p> <p>②転倒予防自主グループ支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体力測定 26グループ ・活動支援 67グループ(サロン含む) ・きょうせ体操(もしくは簡易版)DVD(ビデオ)、リズム体操のDVDの貸与 <p>③転倒予防自主グループを対象とした研修会(きょうせ大会)の実施 5会場実施(合計148人参加)</p>	<p>【高齢】</p> <p>①転倒自主グループの把握 169か所(2,950人)</p> <p>②転倒予防自主グループ等支援(サロン含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体力測定 40グループ ・活動支援 85グループ ・きょうせ体操(もしくは簡易版)DVD(ビデオ)、リズム体操のDVDの貸与 <p>③転倒予防自主グループを対象とした研修会(きょうせ大会)の実施 5会場実施(合計250人参加)</p>	
認知症の発症の可能性が高くなる病気や生活習慣の認知度を上げる	認知症の発症の可能性が高くなる病気や生活習慣の認知度の向上 (健ながアンケート)	<p>高血圧38.6%</p> <p>糖尿病34.4%</p> <p>高脂血症20.7%</p> <p>心疾患16.6%</p> <p>肥満22.8%</p> <p>喫煙20.0%</p> <p>運動不足45.6%</p> <p>飲酒21.1%</p>	<p>高血圧40%</p> <p>糖尿病37%</p> <p>高脂血症23%</p> <p>心疾患19%</p> <p>肥満25%</p> <p>喫煙23%</p> <p>運動不足48%</p> <p>飲酒24%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分にあった生きがいや趣味を持つ ・社会で役割をもち、人々と交流しながら活動的な生活を送る ・新しいことにチャレンジする ・生活習慣病の予防に努める 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病と認知症の関係について啓発をする 	<p>【健推】</p> <p>①特定保健指導や健康栄養相談実施者の中で必要に応じ、生活習慣病と認知症の関係を伝えた。</p> <p>②生活習慣病の健康出前講座の中で、認知症のリスクについて説明</p> <p>生活習慣病出前講座 9回 延べ377人</p> <p>③介護予防関連の出前講座で、パンフレットを用いて説明する際に認知症について説明</p> <p>介護予防に関する出前講座(転倒予防・低栄養予防・口腔) 29回 延べ649人</p>	<p>【健推】</p> <p>①特定保健指導対象者や健康栄養相談実施者に生活習慣病と認知症の関係について伝える。</p> <p>②生活習慣病の健康出前講座で、生活習慣病と認知症の関係について説明する。</p> <p>③介護予防に関する出前講座で、介護予防のパンフレットを配布し、認知症を予防するために生活習慣を整え、社会参加や生きがいをもつことを伝える</p> <p>④東京都健康長寿医療センターから得た認知症予防に関する研究結果で、市民の健康づくりに役立つ部分を広報などで情報提供する</p>	<p>【健推】</p> <p>①特定保健指導や健康栄養相談実施者の中で必要に応じ、生活習慣病と認知症の関係を伝えた。</p> <p>②生活習慣病の健康出前講座の中で、認知症のリスクについて説明した。</p> <p>生活習慣病出前講座 7回 延べ247人</p> <p>③介護予防関連の出前講座で、パンフレットを用いて説明する際に認知症について説明した。</p> <p>介護予防に関する出前講座(転倒予防・低栄養予防・口腔) 11回 延べ236人</p> <p>④東京都健康長寿医療センターから得た認知症予防に関する研究結果が、市民に啓発できるデータではなかったため、広報での情報提供はしていない。</p>	<p>【健推】</p> <p>①特定保健指導対象者や健康栄養相談実施者に生活習慣病と認知症の関係について伝える。</p> <p>②生活習慣病の健康出前講座で、生活習慣病と認知症の関係について説明する。</p> <p>③介護予防に関する出前講座で、介護予防のパンフレットを配布し、認知症を予防するために生活習慣を整え、社会参加や生きがいをもつことを伝える</p> <p>④チラシやパワーポイントを活用して、認知症予防啓発を地域で行う。</p>

具体的目標	評価指標	直近の状況 (出典)	目標値	対策		H28実施結果	H29実施事業計画	H29実施結果	H30実施事業計画
				個人で心がけること	行政や関係機関の取り組み				
認知症を正しく理解し、地域で支えられる	認知症サポーターの増加	7,864人(平成23年度末全国キャラバンメイト連絡協議会への登録者数) (地域包括支援課把握数H23)	24,000人 (H28) ※長浜市基本構想中期的計画	<ul style="list-style-type: none"> 認知症に対する正しい知識を持つ 身近に相談者を作る 認知症に関心を持ち、地域で支えようとする意識を持つ 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症の知識について啓発をする(学校、企業、老人会) 身近で気軽に相談できる窓口の周知と体制整備をする 認知症をキーワードにした地域との連携を図る(啓発、組織づくり) 認知症の啓発を促進するキャラバンメイトの養成と活動支援 	<p>【地域包括支援センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①一般キャラバンメイト「認知症サポーター養成講座」開催 (20回開催645人養成) ②小中学校への絵本教室開催 (50回開催2030人養成) ③キャラバンメイトへの活動支援 (104回) <p>【高齢】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①専門職キャラバンメイト「認知症サポーター養成講座」開催 (8回開催191人養成) ②一般キャラバンメイト支援 研修会の実施2回(8月、2月) ③市民のつどい 平成28年11月27日開催内容は、基調講演や活動報告、コグニサイズ体験等で、来場者数は140人 基調講演は、認知症介護研究・研修東京センターの研究部長 永田 久美子氏による『認知症でも大丈夫！～地域でつながりあって、もっと楽に、楽しい日々を～』 ④認知症初期集中支援推進事業: 訪問支援対象者数:27人 ⑤認知症ケアバスの普及促進 ⑥健康フェスティバル 介護予防・認知症相談コーナー 相談者数:25人 	<p>【委託包括】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①認知症サポーター養成講座開催 ②小中学校への絵本教室開催 ③キャラバンメイトへの活動支援 <p>【高齢】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①専門職キャラバンメイト支援 ②一般キャラバンメイト支援(研修会・交流会・養成講座の開催) ③市民のつどい 平成29年11月26日開催予定 ④認知症初期集中支援推進事業 ⑤認知症地域支援推進員の配置 ⑥健康フェスティバル認知症相談コーナーの実施 	<p>【地域包括支援センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①一般キャラバンメイト「認知症サポーター養成講座」開催 (20回開催461人養成) ②小中学校への絵本教室開催 (46回開催2011人養成) ③キャラバンメイトへの活動支援 (81回) <p>【高齢】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①専門職キャラバンメイト「認知症サポーター養成講座」開催 (11回開催274人養成) ②一般キャラバンメイト支援 研修会の実施2回(8月、12月) ③市民のつどい 平成29年11月26日開催内容は、基調講演や活動報告等で、来場者数134人 基調講演:神経内科渡辺クリニック院長 渡辺 正樹氏による『もくもくワクワクで認知症を予防する』 ④認知症初期集中支援推進事業: 訪問支援対象者数:20人 ⑤認知症ケアバスの普及促進 ⑥健康フェスティバル 介護予防・認知症相談コーナー 相談者数:10人 <p>目標値についてH29現在27,392人</p>	<p>【地域包括支援センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①認知症サポーター養成講座開催 ②小中学校への絵本教室開催 ③キャラバンメイトへの活動支援 <p>【高齢】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①専門職キャラバンメイト支援 ②一般キャラバンメイト支援(研修会・交流会の開催) ③市民のつどい 平成30年11月25日開催予定 ④認知症初期集中支援推進事業 ⑤認知症地域支援推進員の配置 ⑥健康フェスティバル認知症相談コーナーの実施

ソーシャルキャピタルの醸成

●目標:健康を支え守るための社会環境整備 (※〈 〉内はH22県の数値)

具体的目標	評価指標	直近の状況 (出典)	目標値	対策		H28実施結果	H29実施事業計画	H29実施結果	H30実施事業計画
				個人で心がけること	行政や関係機関の取り組み				
地域のつながりの強化(居住地域でお互いに助け合っている人の割合の増加)	自分と地域のつながりが強い方だと思える人の増加	51.3% (健康ながアンケート) (H19国 45.7%) (H24県 36.9%)	65% (H34国 65%) (H34県 50%)	<ul style="list-style-type: none"> 自治会行事に参加する 地域の人と交流する 近所同士の積極的な挨拶やコミュニケーションを図る 	<ul style="list-style-type: none"> 地域活動を支援する 自治会や地域づくり協議会など地域づくりの担い手となる団体を支援する 	<p>【市民活躍】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種補助金等制度 ※自治会活動振興交付金(425団体)・自治会館整備事業補助金(0団体)・自治会館バリアフリー化改修補助金(5団体)・自治会館エコセーフティ化事業補助金(2団体)・自治会館耐震改修事業補助金(1団体)・コミュニティ助成事業補助金(3団体)・自主防犯活動支援事業補助金(12団体)・防犯灯設置補助金(251団体)・交通安全推進活動補助金(16団体)・地域づくり協議会交付金(24地域)・地域づくり協議会事務局員支援交付金(2地域)・地域づくり協議会提案事業交付金(2地域)・市民活動団体スタートアップ支援事業補助金(0団体)・市民活動団体支援事業補助金(15団体)・市民活動協働事業補助金(1団体) 地域支援職員の配置24人 	<p>【市民活躍】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種補助金等制度 ※自治会活動振興交付金・自治会館整備事業補助金・自治会館バリアフリー化改修補助金・自治会館エコセーフティ化事業補助金・コミュニティ助成事業補助金・自主防犯活動支援事業補助金・防犯灯設置補助金・交通安全推進活動補助金・地域づくり協議会交付金・地域づくり協議会事務局員支援交付金・地域づくり協議会提案事業交付金・市民活動団体設立支援事業補助金・市民活動団体スタートアップ支援事業補助金・市民活動団体支援事業補助金・市民活動協働事業補助金 地域支援職員の配置28人 	<p>【市民活躍】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種補助金等制度 ※自治会活動振興交付金・自治会館整備事業補助金・自治会館バリアフリー化改修補助金・自治会館エコセーフティ化事業補助金・コミュニティ助成事業補助金・自主防犯活動支援事業補助金・防犯灯設置補助金・交通安全推進活動補助金・地域づくり協議会交付金・地域づくり協議会事務局員支援交付金・地域づくり協議会提案事業交付金・市民活動団体設立支援事業補助金・市民活動団体スタートアップ支援事業補助金・市民活動団体支援事業補助金・市民活動協働事業補助金 地域支援職員の配置28人 	<p>【市民活躍】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種補助金等制度 ※自治会活動振興交付金・自治会館整備事業補助金・自治会館バリアフリー化改修補助金・自治会館エコセーフティ化事業補助金・コミュニティ助成事業補助金・自主防犯活動支援事業補助金・防犯灯設置補助金・交通安全推進活動補助金・地域づくり協議会交付金・地域づくり協議会事務局員支援交付金・地域づくり協議会提案事業交付金・市民活動団体設立支援事業補助金・市民活動団体スタートアップ支援事業補助金・市民活動団体支援事業補助金・市民活動協働事業補助金 地域支援職員の配置28人
地域活動に主体的に関わる	ボランティアやNPO等の市民活動に参加している人の増加	16.9% (H24市 健康意識調査)	25%	<ul style="list-style-type: none"> ボランティアに参加し活動する 自治会や地域づくり協議会・老人会等の地域活動に参加する 	<ul style="list-style-type: none"> 地域づくり協議会等の地域の健康づくり活動を支援する 健康づくりに関する市と地域づくり協議会との協働事業を創出する 市民活動や地域づくり協議会活動について情報発信する 地域と学校が連携し、地域で子どもを育てる ボランティア講座等の実施によりボランティア意識を啓発する 三世交流イベントを実施する 	<p>【市民活躍】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民活動団体支援ポータルサイト、フェイスブックの随時更新 地域づくり協議会及び市民活動団体等の活動の情報発信支援(講座の開催:2回) 人材育成講座の実施(17回) <p>【健推】</p> <ol style="list-style-type: none"> 健康推進員協議会地域健康づくり事業(北郷里地区) 減塩啓発の実施(総合健診での啓発) 各地区健康推進員への健康出前講座(13回)の実施・地区市民への健康出前講座(108回2792人)の実施 健康推進員への受診勧奨及び健康推進員による市民への健診受診啓発の実施 地区担当保健師中心に、各地区における健康づくり活動の推進(地域づくり協議会等と話し合いの機会を持ち、計画し推進した) <p>健康ながはまパートナーシップ事業(地域づくり協議会等による健診受診向上事業)補助金:5団体(西黒田、常喜新町、湯田、田根、南郷里)</p>	<p>【市民活躍】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民活動団体支援ポータルサイト、フェイスブックの随時更新 地域づくり協議会及び市民活動団体等の活動の情報発信支援 人材育成講座の実施 <p>【健推】</p> <p>地域づくり協議会・自治会と地域住民が行う健診受診促進や、生活習慣の改善等の取り組み等と並列して健康づくりを進め、健診の受診率向上を図る取り組みに対して助成。健康ながはまパートナーシップ事業:予定地区あり</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康推進員と協働ですすめる健康づくりの推進 <ol style="list-style-type: none"> 健康推進員協議会地域健康づくり事業(神照地区)の実施 減塩啓発 各地区健康推進員への健康出前講座の実施・地区市民への健康出前講座(77回1668人)の実施 健康推進員への受診勧奨及び健康推進員による市民への健診受診啓発の実施 地区担当保健師中心に、各地区における健康づくり活動の推進(地域づくり協議会等と話し合いの機会を持ち、計画し推進した) <p>健康ながはまパートナーシップ事業(地域づくり協議会等による健診受診向上事業)補助金:3団体(長浜、南郷里、田根)</p>	<p>【市民活躍】</p> <ul style="list-style-type: none"> ながはま市民活動センターホームページ、フェイスブックの随時更新 地域づくり協議会及び市民活動団体等の活動の情報発信支援(市広報紙で毎月発信) 人材育成講座の実施 つながりイベントの開催 <p>【健推】</p> <p>地域づくり協議会・自治会と地域住民が行う健診受診促進や、生活習慣の改善等の取り組み等と並列して健康づくりを進め、健診の受診率向上を図る取り組みに対して助成。健康ながはまパートナーシップ事業:予定地区あり</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康推進員と協働ですすめる健康づくりの推進 <ol style="list-style-type: none"> 健康推進員協議会地域健康づくり事業の実施 減塩啓発 各地区健康推進員への健康出前講座の実施・地区市民への健康出前講座の実施 健康推進員への受診勧奨及び健康推進員による市民への健診受診啓発 地区担当保健師中心に、各地区における健康づくり活動の推進(地域づくり協議会等と話し合いの機会を持ち、計画し推進) 	

具体的目標	評価指標	直近の状況 (出典)	目標値	対策		H28実施結果	H29実施事業計画	H29実施結果	H30実施事業計画
				個人で心がけること	行政や関係機関の取り組み				
健康づくりを支援できる地域づくりを進める	他者に健診を勧めたり、誘ったことがある人の増加	38.5% (健康なアンケート)	45.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・家族や知り合いで健診受診するよう声を掛け合う 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の健康づくり活動を支援する ・地域や地域づくり協議会・健康推進員協議会と連携して健診受診勧奨をする 	<p>【健推】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①健康推進員協議会地域健康づくり事業（北郷里地区） ②減塩啓発の実施(総合健診での啓発) ③各地区健康推進員への健康出前講座(13回)の実施・地区市民への健康出前講座(108回2792人)の実施 ④健康推進員への受診勧奨及び健康推進員による市民への健診受診啓発の実施 ⑤地区担当保健師中心に、各地区における健康づくり活動の推進(地域づくり協議会等と話し合いの機会を持ち、計画し推進した) <p>健康ながはまパートナーシップ事業(地域づくり協議会等による健診受診向上事業)補助金:5団体(西黒田、常喜新町、湯田、田根、南郷里)</p>	<p>【健推】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域づくり協議会・自治会と地域住民が行う健診受診促進や、生活習慣の改善等の取り組み等と並列して健康づくりを進め、健診の受診率向上を図る取り組みに対して助成。健康ながはまパートナーシップ事業:予定地区あり ・健康推進員と協働ですすめる健康づくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> ①健康推進員協議会地域健康づくり事業（神照地区）の実施 ②減塩啓発 ③各地区健康推進員への健康出前講座の実施・地区市民への健康出前講座の実施 ④健康推進員への受診勧奨及び健康推進員による市民への健診受診啓発 ⑤地区担当保健師中心に、各地区における健康づくり活動の推進(地域づくり協議会等と話し合いの機会を持ち、計画し推進) 	<p>【健推】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康推進員と協働ですすめる健康づくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> ①健康推進員協議会地域健康づくり事業（神照地区） ②減塩啓発の実施(総合健診での啓発) ③各地区健康推進員への健康出前講座(14回)の実施・地区市民への健康出前講座(77回1668人)の実施 ④健康推進員への受診勧奨及び健康推進員による市民への健診受診啓発の実施 ⑤地区担当保健師中心に、各地区における健康づくり活動の推進(地域づくり協議会等と話し合いの機会を持ち、計画し推進した) <p>健康ながはまパートナーシップ事業(地域づくり協議会等による健診受診向上事業)補助金:3団体(長浜、南郷里、田根)</p>	<p>【健推】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域づくり協議会・自治会と地域住民が行う健診受診促進や、生活習慣の改善等の取り組み等と並列して健康づくりを進め、健診の受診率向上を図る取り組みに対して助成。健康ながはまパートナーシップ事業の推進。地区担当保健師中心に、各地区における健康づくり活動の推進(地域づくり協議会等と話し合いの機会を持ち、計画し推進) <ul style="list-style-type: none"> ・健康推進員と協働ですすめる健康づくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> ①健康推進員協議会地域健康づくり事業の実施 ②減塩啓発 ③各地区健康推進員への健康出前講座の実施・地区市民への健康出前講座の実施 ④市民への健診受診啓発

次世代の育成

●目標: 将来を担う次世代の健康を支える (※く)内はH22県の数値)

具体的目標	評価指標	直近の状況 (出典)	目標値	対策		H28実施結果	H29実施事業計画	H29実施結果	H30実施事業計画
				個人で心がけること	行政や関係機関の取り組み				
健康な生活習慣(栄養・食生活・運動)を有する子どもの増加	朝・昼・夕の3食を必ず食べるようにしている人の増加	96.7% (H24 3.8健診)	100%に近づける	・保護者が1日3食、食べることの必要性を知る ・保護者が3歳8か月時点での肥満度の基準値を知る	・3歳8か月児健診で1日3食、食べることの必要性を啓発する ・3歳8か月児の肥満度の基準値を伝える	【健推】 【3歳8か月健診3食摂取率】99.5%(1018人名中1017人) ・食生活についてのチラシを全員配布。必要に応じて食事指導を実施。	【健推】 ・各乳幼児健診で食生活についてのチラシを用いて説明する。 ・3歳8か月健診で計測を実施し、肥満指数を伝え、必要な場合は食事指導を行う。	【健推】 【3歳8か月健診3食摂取率】99.6%(816人名中819人)(人数は1月末現在) ・食生活についてのチラシを全員配布。必要に応じて食事指導を実施。	【健推】 ・各乳幼児健診で食生活についてのチラシを用いて説明する。 ・3歳8か月健診で計測を実施し、肥満指数を伝え、必要な場合は食事指導を行う。
	朝食を欠食する人の減少(食べない・時々食べない)	中学2年生 3.6%<6.3%> (H25健やか教育推進課調査) 3歳8か月児 0.1% (H24 3.8健診)	減少傾向	・早寝早起きをする ・朝食を毎日とる	・乳幼児健診で啓発する ・朝食や生活リズムの大切さについて啓発する ・小中学生に対し授業で啓発する	【健推】 【3歳8か月健診朝食欠食率】0.1%(1018名中1名) ・食生活についてのチラシを全員配布。必要に応じて食事指導を実施。 ・出前講座(子育て支援センター、乳幼児対象)実施状況 全27回実施 412組参加 ・そだちっこ広場(栄養指導)集団指導(離乳食教室)24回のべ267名 個別指導(栄養相談)のべ359名(そだちっこ広場のべ210名、乳幼児相談のべ149名)	【健推】 ・各乳幼児健診で食生活についてのチラシを用いて食事指導を実施する。また、生活リズムの大切さを伝える。 ・出前講座(子育て支援センター)で啓発する。	【健推】 【3歳8か月健診朝食欠食率】0.4%(819名中3名)(人数は1月末現在) ・食生活についてのチラシを全員配布。必要に応じて食事指導を実施。 ・出前講座(子育て支援センター、乳幼児対象)実施状況(H29.4.1~H30.2.20) 29回実施(全33回実施予定) 704人参加 ・そだちっこ広場(栄養指導)集団指導(離乳食教室)24回のべ206名(人数は1月末現在) 個別指導(栄養相談)のべ278名(そだちっこ広場のべ191名、乳幼児相談のべ87名)(人数は1月末現在)	【健推】 ・各乳幼児健診で食生活についてのチラシを用いて食事指導を実施する。また、生活リズムの大切さを伝える。 ・出前講座(子育て支援センター)で啓発する。
	運動やスポーツを習慣的にしている子どもの増加(週に3日以上)	小学5年生 男子:69.5%<国61.5% 県62.3%> 女子:44.7%<国35.9% 県32.7%> (国県H22・生涯学習文化スポーツ課H25)	増加傾向	・習慣的な運動の必要性を知る ・地域の運動教室等の情報を知る	・スポーツ少年団の加入者の増加への啓発をする ・幼少期からのスポーツ教室を開催する	【文化スポーツ】 ・総合型地域スポーツクラブによる幼少期スポーツ教室の実施(拡充) H27/5団体 → H28/7団体 (余呉・西浅井・木之本・高月・湖北・びわ・虎姫) ・「ジュニアアスリート育成プログラム」の実施(県のアスリート発掘プロジェクト合格者の育成と小学生の基礎体力向上) ・「ながはまスポーツ夢プロジェクト」の実施(著名アスリートによる講演会及びスポーツ教室) ・スポーツ少年団活動支援	【スポーツ振興】 ①総合型地域スポーツクラブによる「幼少期スポーツ教室」の実施 H29/7団体 (余呉・西浅井・木之本・高月・湖北・びわ・虎姫) 【目標】:1,350名の参加を目指す ②「ジュニアアスリート育成プログラム」の実施(県のアスリート発掘プロジェクト合格者の育成と小学生の基礎体力向上) 【目標】:県実施事業の合格者5名以上を目指す ③「ながはまスポーツ夢プロジェクト」の実施(著名アスリートによる講演会及びスポーツ教室) 【目標】:300名以上の参加を目指す ④「ながはまスポーツキッズフェスティバル」の実施 【目標】:幼少期の子どもたち300名の参加を目指す ⑤スポーツ少年団活動支援	【スポーツ振興】 ①総合型地域スポーツクラブによる「幼少期スポーツ教室」の実施 参加者数:1,545名 ②「ジュニアアスリート育成プログラム」の実施 県のアスリート発掘育成プロジェクトの合格者3名 ③「ながはまスポーツ夢プロジェクト」の実施 H29.7.1 「東レアローズによるバレーボール教室」参加者259名 H29.10.16 「滋賀文教短期大学留学生のスポーツ指導及び異文化交流」 H30.2.13、21 「フラッグフットボールヘルアップチャレンジ」参加者 小学生287名・教員15名 H30.2.18 「桑田真澄氏スポーツ講演会」参加者485名 ④「ながはまスポーツキッズフェスティバル」 H29.9.3 参加者約600名(子ども198名・保護者300名・大学生56名・北高ボランティア11名・その他35名) ⑤スポーツ少年団活動支援 補助の実施・「ながはまスポーツキッズフェスティバル」でのスポーツ幼年団活動の紹介	【スポーツ振興】 ①総合型地域スポーツクラブによる「幼少期スポーツ教室」の実施 H30/7団体 (余呉・西浅井・木之本・高月・湖北・びわ・虎姫) 【目標】:1,350名の参加を目指す ②「ジュニアアスリート育成プログラム」の実施(県のアスリート発掘プロジェクト合格者の育成と小学生の基礎体力向上) 【目標】:県実施事業の合格者5名以上を目指す ③「ながはまスポーツ夢プロジェクト」の実施(著名アスリートによる講演会及びスポーツ教室) 【目標】:500名以上の参加を目指す ④「ながはまスポーツキッズフェスティバル」の実施 【目標】:幼少期の子どもたち300名の参加を目指す ⑤スポーツ少年団活動支援

具体的目標	評価指標	直近の状況 (出典)	目標値	対策		H28実施結果	H29実施事業計画	H29実施結果	H30実施事業計画
				個人で心がけること	行政や関係機関の取り組み				
安心して子どもを 生み育てられる環境 づくり	3歳8か月健診受 診率の向上	93.2% (H24)	95.0%(H28) ※長浜市基本構 想中期的計画	・3歳8か月時点での、児 の健康状態(身長・体重・ 肥満度等)について把握 する	3歳8か月児健診の受診 勧奨 ・未受診者への受診勧奨 (はがき・電話・訪問) ・園に受診勧奨依頼 乳幼児健診 乳幼児相談 乳幼児健診 乳幼児相談 新生児訪問 離乳食教室 発達相談	【健推】 受診率:97% ・毎月未受診者への受診勧奨(はがき・ 電話・訪問) ・園に健診の受診勧奨を依頼した ・ポルトガル語・スペイン語に翻訳した乳 幼児健診・相談案内のチラシを配布した	【健推】 3歳8か月児健診の受診勧奨 ・未受診者への受診勧奨(はがき・電話・訪問) ・園に受診勧奨依頼 乳幼児健診 そだちっこ広場 乳幼児相談 新生児訪問 離乳食指導 発達相談 ・ポルトガル語・スペイン語に翻訳した乳幼児健 診・相談案内のチラシを配布する。	【健推】 受診率:97% ・毎月未受診者への受診勧奨(はがき・電話・訪 問) ・園に健診の受診勧奨を依頼した ・ポルトガル語・スペイン語に翻訳した乳幼児健 診・相談案内のチラシを配布した	【健推】 3歳8か月児健診の受診勧奨 ・未受診者への受診勧奨(はがき・電話・訪問) ・園に受診勧奨依頼 乳幼児健診 そだちっこ広場 乳幼児相談 新生児訪問 離乳食指導 発達相談 ・ポルトガル語・スペイン語に翻訳した乳幼児健診・相 談案内のチラシを配布する。
適正体重 の子どもの 増加	全出生数中の低 出生体重児の割 合の減少	市6.6%(H24) <国9.6%(H22) 県9.9%(H23)>	減少傾向	・妊娠中の体重増加抑制 及び喫煙の影響について の知識を持つ	・妊娠届出時の聞き取り 票で、妊婦および夫(パート ナー)が喫煙者の場合は 喫煙の影響について啓 発する	【健推】 ・妊娠届出時の聞き取り票で、妊婦およ び夫(パートナー)が喫煙者の場合は喫煙の 影響についてチラシを用いて啓発した	【健推】 ・妊娠届出時の聞き取り票で、妊婦および夫 (パートナー)が喫煙者の場合は喫煙の影響につ いてチラシを用いて啓発する	【健推】 ・妊娠届出時の聞き取り票で、妊婦および夫(パ ートナー)が喫煙者の場合は喫煙の影響につ いてチラシを用いて啓発した	【健推】 ・妊娠届出時の聞き取り票で、妊婦および夫(パ ートナー)が喫煙者の場合は喫煙の影響につ いてチラシを用いて啓発する
	適正体重を維持 している子ども の増加	小学5年生 男子:95.8% 女子:96% (H24長浜市学校保健 研究集)	適正体重を維持 している子どもの 増加	・野菜を中心としてバラン スよく食べる	・園児/小中学生に対して バランスの良い食生活の 指導と運動の推奨する	【健推】 ・出前講座(子育て支援センター、乳幼児対 象) 全27回実施 412組参加 ・そだちっこ広場(栄養指導) 集団指導(離乳食教室)24回のべ267 名 個別指導(栄養相談)のべ359名(そだ ちっこ広場のべ210名、乳幼児相談のべ 149名)	【健推】 ①出前講座(子育て支援センター)でバラン スの良い食生活の指導を行う。	【健推】 ①出前講座(子育て支援センター、乳幼児対象) (H29.4.1~H30.2.20) 29回実施(全33回実施予定) 704人参加 ・そだちっこ広場(栄養指導) 集団指導(離乳食教室)24回のべ206名(人数は 1月末現在) 個別指導(栄養相談)のべ278名(そだちっこ広 場のべ191名、乳幼児相談のべ87名)(人数は1月 末現在)	【健推】 ①出前講座(子育て支援センター)でバラン スの良い食生活の指導を行う。

地域医療

●目標:安心して地域完結型の医療を受けられる

具体的目標	評価指標	直近の状況 (出典)	目標値	対策		H28実施結果	H29実施事業計画	H29実施結果	H30実施事業計画
				個人で心がけること	行政や関係機関の取り組み				
休日急患診療所事業の充実と定着	休日昼間の3病院の救急外来と休日急患診療所の受診者総数のうち、休日急患診療所の受診割合の増加	43%(内科・小児科) (H24)	50%(内科・小児科)	<ul style="list-style-type: none"> 救急医療と休日急患診療所の存在意義を理解する 休日昼間の救急時には、緊急時の場合を除いて休日急患診療所を利用する 	<ul style="list-style-type: none"> 休日急患診療所の機能を明示し、啓発をする 医師会、市内の病院や関係機関等との連携、協力体制の確立を図る 休日急患診療所の運営の充実を図る 	<p>【健推】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①乳幼児健診でのチラシ配布 ②滋賀夕刊、子育て応援メール、HPで啓発 ③各施設でのポスター設置依頼 ④健康出前講座0件 ⑤出前講座で配布する啓発チラシを作成 ⑥運営委員会(7/21)で関係機関と連携を図った。 ⑦広報誌や救急イベント等で休日急患診療所の役割を啓発し、一定の受診割合(湖北圏域における休日急患診療所受診割合は49%)が増加し、経営状況も安定している。 	<p>【健推】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①乳幼児、成人健診でのチラシ配布 ②広報、子育て応援メール、ZTV、HP、企業訪問等で啓発 ③各施設でのポスター設置 ④各種団体への健康出前講座の内容の変更(分かりやすく、意図が伝わるものに) ⑤健康フェスティバルでの啓発(長浜赤十字病院、市立長浜病院、長浜市立湖北病院、健康推進課) ⑥運営委員会、専門部会にて連携を図る ⑦持続可能な医療機関とするため、休日急患診療所の役割を啓発し、受診者を誘導し、安定した経営を維持する 	<p>【健推】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○啓発、チラシ配布等(部数はチラシ部数) ①保険医療課窓口、乳幼児健診受診時、新生児訪問時、母子手帳配布時(適宜) ②⑤ ・イベント等(ピンクリボン、多文化共生フェスタ、子育て支援センター運動会、ロードトレイン祭り、パパチャレンジ講座、ながはま健康ウォーク抽選会)1,283部 ・市民課 転入者用チラシ1,133部 ・その他広報、HP、子育て応援メール、健康フェスティバル、ロードトレイン祭りによる啓発、啓発資料の見直し等 ④子育て支援課出前講座 20部 ※チラシは英語、スペイン語、ポルトガル語含む ⑥運営委員会での連携と検討 ⑦湖北圏域における休日急患診療所受診割合 H29年度4月～1月49.7%(H28年度同期間47.9%) 	<p>【健推】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①乳幼児、成人健診でのチラシ配布 ②広報、子育て応援メール、ZTV、HP、企業訪問等で啓発 ③各施設でのポスター設置 ④各種団体への健康出前講座の内容の変更(分かりやすく、意図が伝わるものに) ⑤健康フェスティバルでの啓発(長浜赤十字病院、市立長浜病院、長浜市立湖北病院、健康推進課) ⑥運営委員会、専門部会にて連携を図る ⑦持続可能な医療機関とするため、休日急患診療所の役割を啓発し、受診者を誘導し、安定した経営を維持する
小児保健医療の充実(小児救急含む)	小児のかかりつけ医をもっている家庭の増加	83.5% (健ながアンケート)	85%	<ul style="list-style-type: none"> 小児のかかりつけ医を持つ 親や祖父母は、小児救急時の対処法や育児の新しい知識を持つ 	<ul style="list-style-type: none"> 小児科医師の確保に努める 小児科のかかりつけ医を持つことおよび親や祖父母への小児救急対処法や育児に関する知識の普及啓発をする 	<p>【健推】</p> <ul style="list-style-type: none"> かかりつけ医を持つよう啓発(広報3/15号、HP、出前講座用休日急患診療所啓発チラシ) 	<p>【健推】</p> <ul style="list-style-type: none"> かかりつけ医を持つよう啓発(広報、HP、出前講座用休日急患診療所啓発チラシ) 	<p>【健推】</p> <ul style="list-style-type: none"> かかりつけ医を持つよう啓発(HP、出前講座用休日急患診療所啓発チラシ、H30年度健康づくり日程表掲載予定、長浜東ロータリークラブと講演会の実施)※長浜東ロータリークラブ主催、市共催の講演会「高齢者医療セミナー」の中でかかりつけ医を持つことの重要性についても知ってもらう内容 	<p>【健推】</p> <ul style="list-style-type: none"> かかりつけ医を持つよう啓発(広報、HP、出前講座用休日急患診療所啓発チラシ)
生活機能の向上を目的としたリハビリテーションの充実	回復期リハビリテーション病棟運営の充実	52床 (平成25年6月稼働)	病床利用率85%	<ul style="list-style-type: none"> 少しでも自立した日常生活を送れるようにするため、リハビリテーションに関する知識の習得に努める 	<ul style="list-style-type: none"> 回復期リハビリテーション病棟運営の充実 通院患者のためのリハビリテーション教室や在宅リハビリテーションの推進に努める 	<p>【長浜病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1日平均患者数31.4人 病床利用率61.5% 	<p>【長浜病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①1日平均患者数36人を維持運営できる。 	<p>【長浜病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1日平均入院患者数29.0人 病床利用率55.7% 在宅復帰率85.9% 回復期リハビリテーション病棟だけでなく、退院後の開業医や介護保険等でのリハビリテーションも生活機能の向上を目的としたリハビリテーションの充実のために重要であり、連携の強化を図っていく。 	<p>【長浜病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①1日平均患者数40人を維持運営できる。 ②退院後もADLが維持・向上できるよう関係機関との連携の強化
安心して暮らせるための在宅医療の充実	診療所の内科のかかりつけ医をもっている人の増加	66.8% (健ながアンケート)	80%	<ul style="list-style-type: none"> 在宅医療についての知識を持つ 診療所の内科のかかりつけ医を持つ 	<ul style="list-style-type: none"> 在宅支援診療所、医療機関、訪問看護ステーション等の連携を図る 診療所の内科のかかりつけ医を持つよう啓発をする 	<p>【健推】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①長浜米原地域医療支援センターとの連携 ②各種団体への健康出前講座 0件 ③かかりつけ医を持つよう啓発(広報3/15号、HP、出前講座用休日急患診療所啓発チラシ) 	<p>【健推】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①長浜米原地域医療支援センターや関係機関との連携 ②かかりつけ医を持つよう啓発(広報、HP、出前講座用休日急患診療所啓発チラシ、イベント) ③健康フェスティバルでの啓発(長浜赤十字病院、市立長浜病院、長浜市立湖北病院、健康推進課) 	<p>【健推】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長浜米原地域医療支援センターや関係機関との連携 ○啓発 ・かかりつけ医を持つよう啓発(広報、HP、出前講座用休日急患診療所啓発チラシ、イベント、H30年度健康づくり日程表掲載予定) ・健康フェスティバルでの啓発 ・長浜東ロータリークラブと講演会の実施 	<p>【健推】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①長浜米原地域医療支援センターや関係機関との連携 ②かかりつけ医を持つよう啓発(広報、HP、出前講座用休日急患診療所啓発チラシ、イベント) ③健康フェスティバルでの啓発(長浜赤十字病院、市立長浜病院、長浜市立湖北病院、健康推進課)

具体的目標	評価指標	直近の状況 (出典)	目標値	対策		H28実施結果	H29実施事業計画	H29実施結果	H30実施事業計画
				個人で心がけること	行政や関係機関の取り組み				
持続可能なへき地医療の確保	巡回診療実施回数 の維持 山間へき地における 医師数の維持	149回(H24) 16人(H25)	維持	・地域医療や健康に関する理解を深める ・長浜市立湖北病院との連携体制に合わせて、国保直診のあり方について検討する ・さまざまな形での医師確保対策を行う	【湖北病院】 ○へき地巡回診療への回数 ・中河内診療所 50回/年 ・杉野診療所 48回/年 ・金居原診療所 48回/年 ○訪問診療回数 39件/月	【湖北病院】 ①へき地巡回診療への回数 ・中河内診療所 46回/年 ・杉野診療所 49回/年 ・金居原診療所 49回/年 ②訪問診療回数 約40件/月	【湖北病院】 ①へき地巡回診療への回数 ・中河内診療所 44回/年 ・杉野診療所 47回/年 ・金居原診療所 47回/年 ②訪問診療回数 47件/月 ○医師数:15人	【湖北病院】 ①へき地巡回診療への回数 ・中河内診療所 44回/年 ・杉野診療所 50回/年 ・金居原診療所 50回/年 ②訪問診療回数 約 47件/月	
地域完結型医療の推進	湖北医療圏内の医療 自足率の増加 3病院の合計患者紹介 率の維持	自足率(入院)70.5% (1日患者調査 H23) 診療所からの紹介率65% (H24)	75% 維持(65%)	・病院と診療所、福祉施設や介護保険事業所等との連携を図る	【長浜病院】 ①地域連携クリニカルパス使用数 大腿骨124件 脳卒中174件 (目標は達成) ②かかりつけ医推進キャンペーン H28/6/21.22.23 11/21.22.24 年2回実施 垂れ幕、のぼり旗、小旗作成。	【長浜病院】 ①地域連携クリニカルパスを使った退院情報連携 H29年度目標 対象者数×90% ②かかりつけ医推進に向けた啓発活動 啓発用チラシの完成、設置	【長浜病院】 ①地域連携クリニカルパス使用数 ・大腿骨88件(96%) ・脳卒中115件(87%) ②かかりつけ医推進に向けた啓発活動 ・市民向けの病院広報誌発行(2回)	【長浜病院】 ①地域連携クリニカルパスを使った退院情報連携 H30年度目標 対象者数×90% ②かかりつけ医推進に向けた啓発活動 ・市民向けの病院広報誌発行	
医療等の市民理解の推進	市から医療や病気に関する 情報を得ている人の増加	35.3% (健ながアンケート)	45%以上	・医療、福祉、介護等に関する制度やサービスの適切な利用をする ・地域医療に関する知識を持つ	【健推】 ①各種団体への健康出前講座 0件 ②広報(3/15)、子育て応援メール、HP等での啓発 ③乳幼児健診にて休診のチラシ配布 ④休日急患診療所受診者に啓発資料配布	【健推】 ①各種団体への健康出前講座 ②広報、子育て応援メール、ZTV、HPでの啓発 ③乳幼児、成人の健診イベント等でのチラシ配布 ④休日急患診療所受診者に啓発資料配布	【健推】 ①団体への健康出前講座 ②広報、子育て応援メール、ZTV、HPでの啓発 ③乳幼児、成人の健診イベント等でのチラシ配布 ④休日急患診療所受診者に啓発資料配布 ○長浜東ロータリークラブと講演会の実施	【健推】 ①各種団体への健康出前講座 ②広報、子育て応援メール、ZTV、HPでの啓発 ③乳幼児、成人の健診イベント等でのチラシ配布 ④休日急患診療所受診者に啓発資料配布	
良質な地域医療と福祉等の 安定的な確保及び組織強化	市内に勤務または開業する 医師数の増加と専門医の確保	人口千人対2.10人 (平成22年12月現在)	維持(人口千人対2.10人)および専門医の確保	・医師、看護師、その他の専門職を確保する ・医師研修体制づくりやその他医療や福祉等に関わる専門職を育成する ・市の医療に関係する部門間の連携を図る	【長浜病院】 ①医師…医大への医師派遣の依頼、民間人材紹介会社HPでの求人を実施した。 看護師…奨学生制度を継続して実施したほか、看護師養成学校に向いて病院説明会を実施した。	【長浜病院】 ①医師…医大への医師派遣の依頼、民間人材紹介会社HPでの求人を実施する。 看護師…奨学生制度を継続して実施するほか、看護師養成学校に向いて病院説明会を実施する。	【長浜病院】 ①医師…医大への医師派遣の依頼、民間人材紹介会社HPでの求人を実施した。 看護師…奨学金制度を継続して実施したほか、看護師養成学校に向いて病院説明会を実施した。	【長浜病院】 医師…医大への医師派遣の依頼、民間人材紹介会社HPでの求人を実施する。 看護師、薬剤師…奨学生を募集するほか、養成学校に向いて病院説明会を実施する。	
					【長浜病院】 医学研究会(学会等)への出席、専門職(薬剤師・診療放射線技師等)の技術、免許更新のための支援を実施した。 看護師の継続的な教育システムによる現任教育を実施したほか、認定看護師等の資格取得のための支援を行った。	【長浜病院】 医学研究会(学会等)への出席、専門職(薬剤師・診療放射線技師等)の技術、免許更新のための支援を実施する。 看護師の継続的な教育システムによる現任教育を実施するほか、認定看護師等の資格取得のための支援を行う。	【長浜病院】 医学研究会(学会等)への出席、専門職(薬剤師・診療放射線技師等)の技術、免許更新のための支援を実施した。 看護師の継続的な教育システムによる現任教育を実施したほか、認定看護師等の資格取得のための支援を行った。	【長浜病院】 医学研究会(学会等)への出席、専門職(薬剤師・診療放射線技師等)の技術、免許更新のための支援を実施する。 看護師の継続的な教育システムによる現任教育を実施するほか、認定看護師等の資格取得のための支援を行う。	

食育推進

●方針:食を通じた市民の心身の健康の増進 (※〈 〉内はH22県の数値)

具体的目標	評価指標	直近の状況 (出典)	目標値	対策		H28実施結果	H29実施事業計画	H29実施結果	H30実施事業計画
				個人で心がけること	行政や関係機関の取り組み				
適正体重の維持	肥満の減少	全体:17.3% 男性:22.6% 女性:13.1% (健ながアンケート) 小学5年 男子:4.2% 女子:4.0% (長浜市学校保健研究集H24)	適正体重を維持している人の増加	・食事バランスガイドを理解して活用する	・特定保健指導/健康栄養相談を実施する	【すこやか】 ・園児や小中学生に対して、バランスの良い食生活についての指導。 【健康推進課】 ①健康・栄養相談(栄養士・保健師実施) ②特定保健指導(動機・積極 栄養士・保健師実施) ③結果説明会(基礎編・実践編)(栄養士・保健師実施) ④出前講座(食事、子育て支援センター、乳幼児対象) ⑤健康推進員による地区活動	【すこやか】 ・園児や小中学生に対して、バランスの良い食生活について指導 【健康推進課】 ①健康・栄養相談(栄養士・保健師実施) ②特定保健指導(動機・積極 栄養士・保健師実施) ③結果説明会(基礎編・実践編)(栄養士・保健師実施) ④出前講座(食事、子育て支援センター、乳幼児対象) ⑤健康推進員による地区活動	【すこやか】 ・園児や小中学生に対して、バランスの良い食生活についての指導。 【健康推進課】 ①健康・栄養相談(栄養士・保健師実施) ②特定保健指導(初回のみ動機・積極 栄養士実施) 242名実施 ③健康づくり事業(ヘルスアップ運動教室) 栄養指導 全4回実施 76名参加 ④出前講座(食事、子育て支援センター、乳幼児対象) 乳幼児対象:全33回実施 779人参加 ⑤健康推進員による地区活動	【すこやか教育推進課】 ・園児や小中学生に対して、バランスの良い食生活についての指導。 【健康推進課】 ①健康・栄養相談(栄養士・保健師実施) ②特定保健指導(動機・積極 栄養士・保健師実施) ③結果説明会(基礎編・実践編)(栄養士・保健師実施) ④出前講座(食事、子育て支援センター、乳幼児対象) ⑤健康推進員による地区活動
	やせの減少	全体:8.9% 男性:5.9% 女性:11.5% (健ながアンケート)		・食事バランスガイドを理解して活用する	・高齢者に対して基本チェックリストで確認、指導する				
バランスの良い食事をとる	食事バランスガイドを見たことがある人の増加	男性:32.1%<32.9%> 女性:58.8%<61.1%> (健ながアンケート)	男性35% 女性60%	・事業で食事バランスガイド活用法を広める	・園児・児童へのバランスの良い食事を啓発する	【幼児課】 ・給食だよりでバランスの良い食生活について啓発した ・全園で3色の食品群のポスターを掲示 ・朝ごはんアンケートの結果とともに、保護者に向けて3色の食品群の食べ物について指導した	【幼児】 ・給食だよりでバランスの良い食生活について取り上げる ・園児にバランスの良い食生活について指導する ・全園で3色の食品群のポスターを掲示する ・毎月「食育ポケット」で、バランスのよい食生活について取り上げる	【幼児課】 ・給食だよりでバランスの良い食生活について啓発する ・全園で3色の食品群のポスターを掲示する ・朝ごはんアンケートの結果とともに、保護者に向けて3色の食品群の食べ物について指導した ・園内掲示物「食育ポケット」で、バランスのよい食生活について啓発をする	【幼児課】 ・給食だよりで、バランスの良い食生活について取り上げる ・園児や保護者に対して、バランスの良い食生活についての啓発をする ・園において、3色の食品群のポスターを掲示する ・園内掲示物「食育ポケット」で、バランスのよい食生活について取り上げる
	食事バランスガイドを参考にしている人の増加	男性:18.6% 女性:27.3%		・健康教室・講座に参加する	・食事バランスガイドを理解して参考にする				

具体的目標	評価指標	直近の状況 (出典)	目標値	対策		H28実施結果	H29実施事業計画	H29実施結果	H30実施事業計画												
				個人で心がけること	行政や関係機関の取り組み																
バランスの良い食事をとる	食塩摂取量の減少	男性: 11.3g<10.7g> 女性: 10.3g<9.6g> (H22栄養マップ調査)	男性9g 女性7.5g (日本人の食事摂取基準2010年版)	<ul style="list-style-type: none"> 調味料を計測して使用する 減塩食品を利用する 薄味でもおいしく食べる工夫をする 	<ul style="list-style-type: none"> 事業で減塩を啓発する 特定保健指導/健康栄養相談を実施する 	<p>【健康推進課】</p> <p>①健康推進員による啓発(塩分について講義・調理実習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ステップアップ研修…全3回 60名参加 ・養成講座…12名参加 <p>②健康推進員による減塩活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域塩分測定 ・総合健診会場での市民への啓発 <p>③出前講座(食事、高血圧)</p> <p>全14回実施 327名参加</p> <p>④健康づくり事業(メタボ撃退教室)</p> <p>栄養指導 全4回実施 62名参加</p> <p>⑤イベント会場での啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康フェスティバル(0.8%味噌汁の試飲、パネル展示)…650名参加 ・口腔フェスティバル(パネル・減塩キャラクターの展示)…400名参加 <p>⑥特定保健指導(初回のみ動機・積極 栄養士実施) 187名実施</p> <p>⑦健康・栄養相談111名(栄養士、保健師電話相談も含む)(延241名)実施</p> <p>⑧乳幼児健診(4か月児健診、10か月児健診)、離乳食教室での啓発</p> <p>4か月児健診実施回数(36回)936名 10か月児健診実施回数(36回)970名 離乳食教室実施回数(24回)延名267名</p>	<p>【健康推進課】</p> <p>①健康推進員に対する啓発(塩分について講義・調理実習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ステップアップ研修 ・養成講座 <p>②健康推進員による減塩活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域塩分測定 ・総合健診会場での市民への啓発 <p>③出前講座(食事、高血圧)</p> <p>全13回実施 229名</p> <p>④健康づくり事業(ヘルスアップ運動教室)</p> <p>栄養指導 全4回実施 76名参加</p> <p>⑤イベント会場での啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康フェスティバル(0.8%味噌汁の試飲、パネル展示)…720名参加 ・口腔フェスティバル(パネル・減塩キャラクターの展示)…300名参加 <p>⑥特定保健指導(初回のみ動機・積極 栄養士実施) 242名実施</p> <p>⑦健康・栄養相談581名(栄養士、保健師電話相談も含む)(延769名)実施</p> <p>⑧乳幼児健診(4か月児健診、10か月児健診)、離乳食教室での啓発</p> <p>4か月児健診実施回数(36回)852名 10か月児健診実施回数(36回)880名 離乳食教室実施回数(24回)延名247名</p>	<p>【健康推進課】</p> <p>①健康推進員による啓発(塩分について講義・調理実習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ステップアップ研修 ・養成講座 <p>②健康推進員による減塩活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域塩分測定 ・総合健診会場での市民への啓発 <p>③出前講座(食事、高血圧)</p> <p>全13回実施 229名</p> <p>④健康づくり事業(ヘルスアップ運動教室)</p> <p>栄養指導 全4回実施 76名参加</p> <p>⑤イベント会場での啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康フェスティバル(0.8%味噌汁の試飲、パネル展示)…720名参加 ・口腔フェスティバル(パネル・減塩キャラクターの展示)…300名参加 <p>⑥特定保健指導(初回のみ動機・積極 栄養士実施) 242名実施</p> <p>⑦健康・栄養相談(栄養士・保健師実施)</p> <p>⑧乳幼児健診(4か月児健診、10か月児健診)、離乳食教室での啓発</p>	<p>【健康推進課】</p> <p>①健康推進員に対する啓発(塩分について講義・調理実習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ステップアップ研修 ・養成講座 <p>②健康推進員による減塩活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域塩分測定 ・総合健診会場での市民への啓発 <p>③出前講座(食事、高血圧)</p> <p>全13回実施 229名</p> <p>④健康づくり事業(ヘルスアップ運動教室)</p> <p>栄養指導 全4回実施 76名参加</p> <p>⑤イベント会場での啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康フェスティバル(0.8%味噌汁の試飲、パネル展示)…720名参加 ・口腔フェスティバル(パネル・減塩キャラクターの展示)…300名参加 <p>⑥特定保健指導(初回のみ動機・積極 栄養士実施) 242名実施</p> <p>⑦健康・栄養相談(栄養士・保健師実施)</p> <p>⑧乳幼児健診(4か月児健診、10か月児健診)、離乳食教室での啓発</p>	<p>【幼児課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「給食レシビ」を保護者に配付し、減塩を心がけた調理方法を啓発する 	<p>【幼児課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食で、薄味を心がけた。 ・家庭での調理に活かせるよう、給食レシビの配布する 										
生活のリズムを整える	朝食を欠食する人の減少(食べない・時々食べない)	中学2年生 3.6%<6.3%> (H25すこやか教育推進課調査) 3歳8か月 0.1% (H24 3.8健診)	減少傾向	<ul style="list-style-type: none"> 早寝早起きをする 朝食を毎日とる 	<ul style="list-style-type: none"> 乳幼児健診で啓発する 朝食や生活リズムの大切さについて啓発する 小中学生に対し授業で啓発する 	<p>【幼児課】</p> <p>公立保育園、認定こども園、幼稚園の5歳児を対象に、朝ごはんについてアンケートを実施した</p> <p>回答数 703人</p> <p>朝食を毎日食べる…93%</p> <p>・アンケート結果と朝ごはんの大切さ、生活リズムについて、保護者へ啓発した</p> <p>【すこやか】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝食摂取率調査(全小中学生対象:年2回) 朝食を毎日食べる割合 <table border="1"> <tr> <td>6月</td> <td>11月</td> </tr> <tr> <td>小学生 92.1%</td> <td>91.8%</td> </tr> <tr> <td>中学生 89.4%</td> <td>87.7%</td> </tr> </table> ・児童生徒に対して朝ごはんについての指導 <p>【健康推進課】</p> <p>①各乳幼児健診での啓発(10か月、1歳8か月、2歳8か月、3歳8か月)</p> <p>10か月健診実施回数(36回)970名 1歳8か月健診実施回数(36回)1025名 2歳8か月健診実施回数(36回)1030名 3歳8か月健診実施回数(36回)1042名</p> <p>②出前講座(子育て支援センター、乳幼児対象)</p> <p>全27回実施 412組参加</p> <p>③口腔フェスティバルでの啓発</p> <p>→パンフレット配布 400人配布</p>	6月	11月	小学生 92.1%	91.8%	中学生 89.4%	87.7%	<p>【幼児】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公立保育園、認定こども園、幼稚園の5歳児に朝ごはんアンケートを実施する ・園児、保護者に対して朝ごはんについての大切さを啓発・指導する <p>【すこやか】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝ごはんアンケートの実施 ・児童生徒に対して朝ごはんについての指導をする <p>【健康推進課】</p> <p>①各乳幼児健診での啓発(10か月、1歳8か月、2歳8か月、3歳8か月)</p> <p>②出前講座(子育て支援センター、乳幼児対象での実施)での啓発</p> <p>③口腔フェスティバルでの啓発</p> <p>→パンフレット配布</p>	<p>【幼児課】</p> <p>公立保育園、認定こども園、幼稚園の5歳児を対象に、朝ごはんについてアンケートを実施した</p> <p>回答数 703人</p> <p>朝食を毎日食べる…94%</p> <p>・アンケート結果と朝ごはんの大切さ、生活リズムについて、保護者へ啓発した</p> <p>【すこやか教育推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝食摂取率調査(全小中学生対象) 朝食を毎日食べる割合 29年6月実施 <table border="1"> <tr> <td>小学生</td> <td>92.2%</td> <td>(県内1位)</td> </tr> <tr> <td>中学生</td> <td>89.5%</td> <td>(県内2位)</td> </tr> </table> ・児童生徒に対して朝ごはんについての指導 <p>【健康推進課】</p> <p>①各乳幼児健診での啓発(10か月、1歳8か月、2歳8か月、3歳8か月)</p> <p>10か月健診実施回数(36回)880名 1歳8か月健診実施回数(36回)925名 2歳8か月健診実施回数(36回)993名 3歳8か月健診実施回数(36回)998名</p> <p>②出前講座(子育て支援センター、乳幼児対象)</p> <p>全33回実施 779人</p> <p>③口腔フェスティバルでの啓発</p> <p>→パンフレット配布 300人配布</p>	小学生	92.2%	(県内1位)	中学生	89.5%	(県内2位)	<p>【幼児課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公立園5歳児保護者を対象に、朝ごはんについてのアンケートを実施する ・園児、保護者に対して、朝ごはんの大切さについて啓発、指導する <p>【すこやか教育推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝ごはんアンケートの実施 ・児童生徒に対して朝ごはんについての指導をする <p>【健康推進課】</p> <p>①各乳幼児健診での啓発(10か月、1歳8か月、2歳8か月、3歳8か月)</p> <p>②出前講座(子育て支援センター、乳幼児対象での実施)での啓発</p> <p>③口腔フェスティバルでの啓発</p> <p>→パンフレット配布</p>
6月	11月																				
小学生 92.1%	91.8%																				
中学生 89.4%	87.7%																				
小学生	92.2%	(県内1位)																			
中学生	89.5%	(県内2位)																			

●方針: 食べることへの感謝

具体的目標	評価指標	直近の状況 (出典)	目標値	対策		H28実施結果	H29実施事業計画	H29実施結果	H30実施事業計画
				個人で心がけること	行政や関係機関の取り組み				
食をとおして、生命の尊さを知る	食べ物を残すことをもったいないと思っている人の増加	小学5年生92.1% 中学2年生89.1% (食べるに関するアンケートH25)	小・中学生 100%	<ul style="list-style-type: none"> 家族で食事マナーを伝える 食にかかわる人への感謝の心を育む 農業等を体験する 	<ul style="list-style-type: none"> 農業/収穫体験の機会をつくり、感謝の気持ちを育む取り組みを行う 給食時に食前食後のあいさつをする 	<p>【農政課】 農業体験、収穫祭等開催 33回</p> <p>【幼児課】 ・公立保育園、認定こども園、幼稚園の4歳児を対象に、おはしの正しい持ち方についての指導を実施した ・園での食事時のあいさつ、マナー等について指導した ・給食だよりで、食物や、食べ物に関わる人、ものについて取り上げた啓発を行った ・栽培活動による収穫する喜びや感謝の気持ちをもてるよう啓発した ・クッキングの活動を通して何でもおいしくいただく機会を設けた ・絵本や紙芝居を利用して感謝の気持ちやマナーについて啓発した</p> <p>【すこやか】 ・食事マナーについての指導 ・授業での栽培、収穫活動 ・給食ランチメッセージでの啓発</p> <p>【健康推進課】 ①口腔フェスティバルでの啓発 →箸つまみゲームの実施、パネル展示、パンフレット配布 400人参加 ②出前講座(子育て支援センター、乳幼児対象)にてパンフレット配布 全27回実施 412組に配布</p>	<p>【農政課】 市内直売所及びJAにおけるイベント等の実施</p> <p>【幼児課】 ・園での食事時のあいさつ、マナー等について指導する ・給食だよりで、食物や、食べ物に関わる人、ものについて取り上げる ・栽培活動、クッキング活動等を実施する ・絵本や紙芝居などで、園児に食べ物や食に関わるものに対する感謝の気持ちをはぐくむ取り組みをする ・公立保育園、認定こども園、幼稚園の4歳児を対象に、おはしの正しい持ち方について指導する</p> <p>【すこやか】 ・授業での栽培、収穫活動 ・食事マナーについての指導</p> <p>【健康推進課】 ①口腔フェスティバルでの啓発 →箸つまみゲームの実施、パネル展示、パンフレット配布 ②出前講座(子育て支援センター、乳幼児対象)にてパンフレット配布 全33回実施 779人</p>	<p>【農政課】 農業体験、収穫祭等開催 32回</p> <p>【幼児課】 ・園での食事時のあいさつ、マナー等についての指導をする ・給食だよりで、食物や、食べ物に関わる人、ものについて取り上げた ・栽培活動、クッキング活動等を実施する ・絵本や紙芝居などで、園児に食べ物や食に関わるものに対する感謝の気持ちをはぐくめるよう取り組んだ ・公立保育園、認定こども園、幼稚園の4歳児を対象に、おはしの正しい持ち方についての指導をする</p> <p>【すこやか教育推進課】 ・授業での栽培、収穫活動 ・食事マナーについての指導 ・給食を配りきることの指導</p> <p>【健康推進課】 ①口腔フェスティバルでの啓発 →箸つまみゲームの実施、パネル展示、パンフレット配布 ②出前講座での啓発 →子育て支援センター、乳幼児対象)にてパンフレット配布</p>	<p>【農政課】 市内直売所及びJAにおけるイベント等の実施</p> <p>【幼児課】 ・食事時のあいさつや食事のマナー等について指導する ・給食だよりで、食物や食事にかかわる人等について取り上げる ・栽培活動、クッキング活動等を実施する ・園児に対して、おはしの正しい持ち方、使い方について指導する ・給食だよりで、おはしの正しい持ち方、使い方についての啓発をする</p>

●方針:みんなで心通わす食体験をする

具体的目標	評価指標	直近の状況 (出典)	目標値	対策		H28実施結果	H29実施事業計画	H29実施結果	H30実施事業計画
				個人で心がけること	行政や関係機関の取り組み				
コミュニケーションをとりながら、家族や友人と楽しい食事をする	地域の人が集まって会食する機会の増加(健康推進員による料理講習等の回数)	196回 (健康推進員協議会資料H24)	105回 (15地区×7回)	<ul style="list-style-type: none"> 健康推進員が行う事業をサポートする 家族や友人との食事を通じたコミュニケーションの重要性を啓発する 家族で食事をとる時間を増やす 地域の人々とコミュニケーションを図り、楽しい食事の機会を増やす 	<ul style="list-style-type: none"> 健康推進員が行う事業をサポートする 家族や友人との食事を通じたコミュニケーションの重要性を啓発する 地域の人々が食を通じた交流ができる場を増やす 食事について望ましい習慣を学ぶ機会を提供する 給食や授業を通じて楽しく食事をとることを伝える 	<p>【幼児課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 園児に、給食や食育指導、たより等で、楽しく食事をする大切さ、誰かと一緒に食べる大切さを伝えた 絵本や紙芝居等を利用した食育指導を行った 給食や給食だより等による家庭への啓発を行った <p>【健康推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①乳幼児健診(10か月児健診) 実施回数(36回)名 ②離乳食教室(離乳食のおはなしタイム) 実施回数(24回)延べ267名 ③出前講座(食事、子育て支援センター、乳幼児対象) <ul style="list-style-type: none"> ・食事…全17回実施 275名参加 ・子育て支援センター、乳幼児対象 …全27回実施 412組参加 ④健康推進員 ステップアップ研修(腎臓病、減塩、食育) 全7回実施 198名参加、健康推進員 養成講座 12名参加、健康推進員(地区活動) ⑤健康づくり事業(メタボ撃退教室)) 実施回数(4回)62名 ⑥イベント会場での啓発(口腔フェスティバルにてパンフレット配布) 400人配布 	<p>【幼児課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 園児に、給食や食育指導、たより等で、楽しく食事をする大切さ、誰かと一緒に食べる大切さを伝える 親子活動等で、楽しく食事をする機会をつくる <p>【健康推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①乳幼児健診(10か月児健診) ②離乳食教室(離乳食のおはなしタイム) ③出前講座(食事、子育て支援センター、乳幼児対象) ④健康推進員 ステップアップ研修(減塩、食育) 健康推進員 養成講座、健康推進員(地域活動) ⑤結果説明会(実践編) ⑥イベント会場での啓発(口腔フェスティバルにてパンフレット配布) 	<p>【幼児課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 園児に、給食や食育指導、たより等で、楽しく食事をする大切さ、誰かと一緒に食べる大切さを伝えた 親子活動等で、楽しく食事をした <p>【健康推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①乳幼児健診(10か月児健診) 実施回数(36回)880名教室 ②離乳食教室(離乳食のおはなしタイム) 実施回数(24回)延べ247名 ③出前講座(食事、子育て支援センター、乳幼児対象) <ul style="list-style-type: none"> ・食事…全13回実施 229名参加 ・子育て支援センター、乳幼児対象 …全33回実施 779人 ④健康推進員 ステップアップ研修(腎臓病、減塩、食育) 全6回実施 111名参加、健康推進員 養成講座 11名参加、健康推進員(地区活動) ⑤健康づくり事業(ヘルスアップ運動教室)) 実施回数(4回)76名 ⑥イベント会場での啓発(口腔フェスティバルにてパンフレット配布) 300人配布 	<p>【幼児課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 給食時や給食だよりで、楽しく食事することを伝える 親子活動等で、楽しく食事をする機会をつくる <p>【健康推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①乳幼児健診(10か月児健診) ②離乳食教室(離乳食のおはなしタイム) ③出前講座(食事、子育て支援センター、乳幼児対象) ④健康推進員 ステップアップ研修(減塩、食育) 健康推進員 養成講座、健康推進員(地域活動) ⑤結果説明会(実践編) ⑥イベント会場での啓発(口腔フェスティバルにてパンフレット配布)
	食育体験講座開催回数の維持	39回 (生涯学習文化スポーツ課H24)	39回	<ul style="list-style-type: none"> 食育体験講座へ積極的に参加する 	食育体験講座を開催する	<p>【すこやか学校給食室】</p> <ul style="list-style-type: none"> 夏休み親子料理教室への協力 学校給食パネル展の実施 	<p>【すこやか学校給食室】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校給食パネル展の実施 	<p>【すこやか学校給食室】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校給食展の実施 	<p>【すこやか学校給食室】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校給食パネル展の実施

●方針:地域の食文化を知って食べ繋ぐ

具体的目標	評価指標	直近の状況 (出典)	目標値	対策		H28実施結果	H29実施事業計画	H29実施結果	H30実施事業計画
				個人で心がけること	行政や関係機関の取り組み				
地域の産物が食卓に出るまでの過程を知る	生産者との消費者交流の機会の増加	市内直売所とJAのイベント等の実施回数35回 (農政課H24)	40回	・農業体験、収穫体験を積極的に行う	・料理講習等で地元産の食材を優先して使用する ・地域でとれた食材を使った給食を提供する ・地場産農水産物のイベントの推進を図る	【農政課】 農業体験、収穫祭等開催 33回 【幼児課】 ・地域でとれた食材を使った給食を園で提供した ・地場産物の使用に努めた 【すこやか学校給食室】 ・地域でとれた食材を使った給食を提供する 【健康推進課】 ①健康推進員 養成講座(調理実習) 12名参加 ②健康推進員ステップアップ研修(調理実習) 全7回実施 198名参加 ③健康推進員地区活動(調理実習) ④離乳食教室(離乳食のおはなしタイム) 実施回数(24回) 延べ267名	【農政課】 市内直売所及びJAにおけるイベント等の実施 【幼児課】 地域でとれた食材を使った給食を園で提供する 【すこやか学校給食室】 地域でとれた食材を使った給食を提供する	【農政課】 農業体験、収穫祭等開催 32回 【幼児課】 地域でとれた食材を使った給食を園で提供する 【すこやか学校給食室】 地域でとれた食材を使った給食を提供する 長浜産野菜の使用率 38.8%(29.12調べ) 【健康推進課】 ①健康推進員 養成講座(調理実習) 12名参加 ②健康推進員ステップアップ研修(調理実習) 全6回実施 111名参加 ③健康推進員地区活動(調理実習) ④離乳食教室(離乳食のおはなしタイム) 実施回数(24回) 延べ247名	【農政課】 市内直売所及びJAにおけるイベント等の実施 【幼児課】 地域でとれた食材を使った給食を提供する 【すこやか学校給食室】 地域でとれた食材を使った給食を提供する 【健康推進課】 ①健康推進員 養成講座(調理実習) 12名参加 ②健康推進員ステップアップ研修(調理実習) 全6回実施 111名参加 ③健康推進員地区活動(調理実習) ④離乳食教室(離乳食のおはなしタイム) 実施回数(24回) 延べ247名
郷土食を作って、食べて、伝える	長浜の郷土食を知っている人の増加	【小学生】 えび豆63.7% 小鮎やいさざのあめ炊き55.4% さばそうめん55.4% 【中学生】 えび豆60.2% 小鮎やいさざのあめ炊き41.2% さばそうめん56.3% (食べるに関するアンケート調査H25) 【16歳以上】 えび豆73.9% 小鮎やいさざのあめ炊き77.0% さばそうめん77.7% (健ながアンケート)	小中学生:50% 16歳以上:80%	・健康推進員による事業で啓発する ・保育園や学校給食に郷土料理を提供する ・郷土料理を広める ・地場産物を提供する直売所を利用する ・郷土料理に親しむ ・豊かな食材、食文化を子どもたちに伝える	【幼児課】 ・園の給食で行事食、郷土料理を提供した 【すこやか学校給食室】 ・給食で郷土料理を提供する 【健康推進課】 ①健康推進員ステップアップ研修(調理、食育) →郷土食を調理実習に取り入れる 全3回 60人 ②健康推進員地区活動(調理、食育)	【幼児課】 園の給食で行事食、郷土料理を提供する 【すこやか学校給食室】 給食で郷土料理を提供する 【健康推進課】 ①健康推進員ステップアップ研修(調理、食育) →郷土食を調理実習に取り入れる 全3回 60人 ②健康推進員地区活動(調理、食育)	【幼児課】 園の給食で行事食、郷土料理を提供する 【すこやか学校給食室】 給食で郷土料理を提供 こあゆ、ピワマス、赤こんにやく、お講汁、打ち豆汁など 【健康推進課】 ①健康推進員ステップアップ研修(調理、食育) →郷土食を調理実習に取り入れる 全3回 55人 ②健康推進員地区活動(調理、食育)	【幼児課】 給食で行事食、郷土料理を提供する 【すこやか学校給食室】 給食で郷土料理を提供する 【健康推進課】 ①健康推進員ステップアップ研修(調理、食育) →郷土食を調理実習に取り入れる 全3回 55人 ②健康推進員地区活動(調理、食育)	
	長浜の郷土食を作る人の増加	えび豆29.0% 小鮎やいさざのあめ炊き35.5% さばそうめん35.1% (健ながアンケート)	50%	・健康推進員による事業で啓発する ・郷土料理や伝統料理の調理体験の機会を増やす	【健康推進課】 ①健康推進員ステップアップ研修(調理、食育) →郷土食を調理実習に取り入れる 全3回 60人 ②健康推進員地区活動(調理、食育)	【健康推進課】 ①健康推進員ステップアップ研修(調理、食育) →郷土食を調理実習に取り入れる 全3回 55人 ②健康推進員地区活動(調理、食育)	【健康推進課】 ①健康推進員ステップアップ研修(調理、食育) →郷土食を調理実習に取り入れる 全3回 55人 ②健康推進員地区活動(調理、食育)	【健康推進課】 ①健康推進員ステップアップ研修(調理、食育) →郷土食を調理実習に取り入れる 全3回 55人 ②健康推進員地区活動(調理、食育)	

●方針:旬の食・安全な食を選ぶ力 (※く内はH22県の数値)

具体的目標	評価指標	直近の状況 (出典)	目標値	対策		H28実施結果	H29実施事業計画	H29実施結果	H30実施事業計画
				個人で心がけること	行政や関係機関の取り組み				
旬のものを を知る	旬の食材を取り 入れている 人の増加	88.1% (健ながアンケート)	90%	<ul style="list-style-type: none"> ・季節のものを食べる ・新鮮な地元の食材を取り入れる ・食べ物を作り育てる農業体験に参加する 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域でとれた食材や旬の野菜の利用を推進する ・地域でとれた食材や旬の食材を使った給食を提供する 	<p>【幼児課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園の給食で旬の食材・行事食を提供した ・給食日より、食育ポケット等で旬の食材を紹介した ・園で栽培活動、クッキングをとおして旬の野菜の指導を行った <p>【すこやか学校給食室】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食で旬の食材・行事食を提供 ・給食の食材に地場産物を使用 ・地場産調査の結果 6月…26.0% 11月…27.8% ・湖魚を使った給食の提供 <p>【健康推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①健康推進員ステップアップ研修(調理実習)実施回数(6回)120名 ②健康推進員地区活動 ③離乳食教室(離乳食のおはなしタイム)実施回数(24回)延べ267名 	<p>【幼児課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①園の給食で旬の食材・行事食を提供する ②給食日より旬の食材を紹介する <p>【すこやか学校給食室】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①給食で旬の食材・行事食を提供 ②給食の食材に地場産物を使用 <p>【健康推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①健康推進員ステップアップ研修(調理実習) ②健康推進員地区活動 ③離乳食教室(離乳食のおはなしタイム) 	<p>【幼児課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①園の給食で旬の食材・行事食を提供した ②給食日より、食育ポケット等で旬の食材を紹介した ・園で栽培活動、クッキングをとおして旬の野菜を知らせるなどの指導を行った <p>【すこやか学校給食室】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①給食で旬の食材・行事食を提供 ②給食の食材に地場産物を使用 長浜産野菜の使用率 38.8%(29.12調べ) <p>【健康推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①健康推進員ステップアップ研修(調理実習)実施回数(6回)111名 ②健康推進員地区活動 ③離乳食教室(離乳食のおはなしタイム)実施回数(24回)延べ247名 	<p>【幼児課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食で旬の食材・行事食を提供する ・給食日より、旬の食材を紹介する <p>【すこやか教育推進課学校給食室】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①給食で旬の食材・行事食を提供 ②給食の食材に地場産物を使用 <p>【健康推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①健康推進員ステップアップ研修(調理実習) ②健康推進員地区活動 ③離乳食教室(離乳食のおはなしタイム)
安全な食 品を選ぶ	「環境こだわり 農産物」認証 マークを知っ ている人の増 加(見たことが あり、意味も 知っている)	22.1%<36.1%> (健ながアンケート)	30%	<ul style="list-style-type: none"> ・食品を購入するときは、地元の農産物や、「環境こだわり農産物」認証マークの農産物を購入する 	<ul style="list-style-type: none"> ・「環境こだわり農産物」認証マークの推進、普及を図る ・「環境こだわり農産物」認証マークや地域の食品について学習する機会をつくる 	<p>【健康推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①健康推進員 養成講座(食育)12名参加 ②健康推進員 ステップアップ研修(食育)全3回 60名参加 ③出前講座(食事、子育て支援センター、乳幼児対象) <ul style="list-style-type: none"> ・食事…全17回実施 275名参加 ・子育て支援センター、乳幼児対象…全27回実施 412組参加 ④離乳食教室(離乳食のおはなしタイム)実施回数(24回)延べ267名 	<p>【健康推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①健康推進員 養成講座 ②健康推進員 ステップアップ研修(食育) ③健康推進員(地区活動) ④離乳食教室(離乳食のおはなしタイム) 	<p>【健康推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①健康推進員 養成講座(食育)11名参加 ②健康推進員 ステップアップ研修(食育)全3回 55名参加 ③出前講座(食事、子育て支援センター、乳幼児対象) <ul style="list-style-type: none"> ・食事…全13回実施 229名参加 ・子育て支援センター、乳幼児対象…全28回実施 779人 ④離乳食教室(離乳食のおはなしタイム)実施回数(24回)延べ247名 	<p>【健康推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①健康推進員 養成講座 ②健康推進員 ステップアップ研修(食育) ③出前講座 ④離乳食教室(離乳食のおはなしタイム)
	地域の農産物を優先的に購入する人の増加	62.3% (健ながアンケート)	65%	<ul style="list-style-type: none"> ・地場産農産物を提供する直売所を利用する 					